

国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事

建築図面		構造図面		電気設備図面		機械設備図面	
No	図面名称	No	図面名称	No	図面名称	No	図面名称
A-01	表紙・図面リスト	S-01	構造特記仕様書	E-01	電気設備 特記仕様書1	M-01	機械設備 特記仕様書1
A-02	特記仕様書1	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図1	E-02	電気設備 特記仕様書2	M-02	機械設備 特記仕様書2
A-03	特記仕様書2	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図2	E-03	引込開閉器盤・電灯盤・動力盤・照明器具リスト	M-03	衛生設備 配置兼道路レベル平面図
A-04	特記仕様書3	S-04	杭施工標準図1	E-04	幹線・動力設備 道路レベル平面図	M-04	衛生設備 2階平面図(一重目軒足場)
A-05	特記仕様書4	S-05	杭施工標準図2	E-05	幹線・動力設備 1階平面図(二王門GL)	M-05	消火設備 1階平面図(二王門GL)現況撤去
A-06	特記仕様書5	S-06	杭伏図	E-06	幹線・動力設備 2階平面図(一重目軒足場)	M-06	消火設備 1階平面図(二王門GL)新設
A-07	特記仕様書6	S-07	基礎伏図	E-07	幹線・動力設備 3階平面図(二重目軒足場)・上部平面図(妻足場)	M-07	消火設備 2階平面図(一重目軒足場)
A-08	特記仕様書7	S-08	基礎リスト	E-08	幹線・動力設備 上部平面図(棟足場)・屋根伏図	M-08	消火設備 3階平面図(二重目軒足場)
A-09	特記仕様書8	S-09	雑配筋図	E-09	電灯設備 道路レベル平面図	M-09	換気設備 1階平面図(二王門GL)
A-10	工事概要・求積図	S-10	Z1伏図	E-10	電灯設備 1階平面図(二王門GL)	M-10	換気設備 2階平面図(一重目軒足場)
A-11	付近見取図	S-11	Z2伏図	E-11	電灯設備 2階平面図(一重目軒足場)	M-11	換気設備 3階平面図(二重目軒足場)
A-12	配置図(現況)	S-12	Z3伏図	E-12	電灯設備 3階平面図(二重目軒足場)・上部平面図(妻足場)		
A-13	配置図(計画)	S-13	Z4伏図	E-13	電灯設備 上部平面図(棟足場)・屋根伏図		
A-14	仕上表	S-14	Z5・6伏図	E-14	コンセント設備 1階平面図(二王門GL)		
A-15	道路レベル平面図	S-15	屋根伏図	E-15	コンセント設備 2階平面図(一重目軒足場)		
A-16	1階平面図(二王門GL)	S-16	軸組図1	E-16	コンセント設備 3階平面図(二重目軒足場)・上部平面図(妻足場)		
A-17	2階平面図(一重目軒足場)	S-17	軸組図2	E-17	コンセント設備 上部平面図(棟足場)・屋根伏図		
A-18	3階平面図(二重目軒足場)	S-18	軸組図3	E-18	自動火災報知設備 凡例・注記・系統図		
A-19	上部平面図(妻足場・棟足場)	S-19	軸組図4	E-19	自火報設備 配置図		
A-20	屋根伏図・建具表	S-20	軸組図5	E-20	自火報設備 1階平面図(二王門GL)		
A-21	立面図1	S-21	軸組図6	E-21	自火報設備 2階平面図(一重目軒足場)		
A-22	立面図2	S-22	部材詳細図	E-22	自火報設備 3階平面図(二重目軒足場)・上部平面図(妻足場)		
A-23	断面詳細図1			E-23	自火報設備 上部平面図(棟足場)・屋根伏図		
A-24	断面詳細図2			E-24	避雷設備 1階平面図(二王門GL)		
A-25	断面詳細図3			E-25	避雷設備 上部平面図(棟足場)・屋根伏図		
A-26	床伏図1			E-26	避雷設備 立面図		
A-27	床伏図2			E-27	避雷設備 機器詳細図		
A-28	天井伏図1			E-28	電気設備 平面図(新設)		
A-29	天井伏図2			E-29	電気設備 平面図(現況撤去)		
A-30	部分詳細図1			E-30	機械警備設備 平面図(新設)		
A-31	部分詳細図2			E-31	機械警備設備 平面図(現況撤去)		
A-32	部分詳細図3			E-32	テレビ電波障害対策		
A-33	捨てコンクリート・VU管図						
A-34	外構図(現況撤去)						
A-35	外構図(新設)						
A-36	外構詳細図1						
A-37	外構詳細図2						
A-38	外構詳細図3						
A-39	外構詳細図4						
A-40	擁壁詳細図						
A-41	植栽撤去図						
A-42	仮設計画図1						
A-43	仮設計画図2						
A-44	スライドSTEP図						
A-45	スライド部分詳細図						
A-46	排水改修図						

完成図

本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。

施 奥村・松塚特定建設工事共同企業体

名称 国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事

縮尺

No.

図名 表紙・図面リスト

意匠
A-01

国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事 特記仕様書		
I. 工事概要		
1. 工事場所 吉野郡吉野町吉野山2498番地 金峯山寺境内内地内		
2. 建物概要 仮設仮設足場(素屋根)：鉄骨(四角トラス材)造		
3. 工事種目 新築工事、除却工事、屋外附帯工事、電気設備工事、機械設備工事		
II. 建築工事仕様		
1. 共通仕様 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版」(以下「標準仕様書」という。)による。ただし、標準仕様書に規定されていない項目以外は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版」(以下「改修標準仕様書」という。)及び「建築物解体工事共通仕様書・同解説(平成31年版)」(以下「解体共通仕様書」という。)による。 ※本特記仕様書及び上記標準仕様書等に該当する部分が無い場合においては、日本建築学会標準仕様書(JASS)に準拠するものとする。		
2. 特記仕様 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の()内表示記号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 また、< >内表示番号は、標準仕様書 各部配筋参考図の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 特記事項に記載の[]内表示記号は、公共建築改修工事標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。		
章	項目	特記事項
1 工 事 一 般 事 項	① 適用基準等	○建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(平成28年版) ○建築工事監理指針(上・下) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和元年版) ○建築改修工事監理指針(上・下) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和元年版) ○県土マネジメント部建築工事監督及び検査必携 奈良県土マネジメント部 ○建築及び設備工事監督・検査事務処理様式集 奈良県土マネジメント部
	② 工事実績情報の登録	※適用する (1.1.4)
	③ 養生材の処理等	○県内処分場にて処理する。(安定5品目) 半径()km.以内 (安定5品目：がれき類、びんくず及び陶磁器くず、プラスチック類、金属くず類、ゴムくず) ・引渡しを要するもの() (1.3.11) ・特別管理産業廃棄物() 処理方法() ・現場において再利用を図るもの() ○再生資源化を図るもの(県内処理) ○コンクリート塊 ○アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ○再生資源化を図るもの ○金属類 ○珪質塩化ビニル類 ・ ◎再生資源利用【促進】計画(実施)書提出する。 (建設副産物対策近畿地方連絡協議会)
	④ 電気保安技術者	※適用する (1.3.3)
	⑤ 施工条件	※現場説明書による (1.3.5)
	⑥ 建築材料等	本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合には、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。但し、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。 なお、「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」による。 ※ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆の規格に適合するものを使用する。 ※VOC発生量の少ないものを使用する。 ※アセトアルデヒド及びスチレンが発散しないか、発散が少ないものを使用する。 ※トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないものを使用する。
	⑦ 特別な材料の工法	標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。 (1.5.2)
8 技能士	技能検定の職種 作業の種別 鉄筋工事(・鉄筋施工) - 全て コンクリート工事(・左官・型枠施工) - 全て 鉄骨工事(・とび) - 全て ブロック・ALCパネル工事・PCカーテンウォール工事 - 全て (・ブロック建築・ALCパネル施工・カーテンウォール施工) 防水工事(・防水施工) - 全て 石工事(・石材施工) - 全て タイル工事(・タイル張り) - 全て 木工事(・建築大工) - 全て 屋根及びとい工事 - 全て (・建築板金・スレート施工・かわらぶき) 金属工事(・内装仕上げ施工(鋼製下地)) - 全て 左官工事(・左官) - 全て 建具工事(・サッシ施工・ガラス施工) - 全て 塗装工事(・塗装) - 全て 内装工事 - 全て (・内装仕上げ施工(床、天井仕上げ等)・表装) 植栽工事(・造園) - 全て	

9 化学物質の濃度測定	※室内空気中の化学物質については、「学校環境衛生の基準」に基づく濃度以下にすること。(1.5.9) 環境測定の評定指針値は次による。(室温25℃に換算すること。) ホルムアルデヒド:0.08 ppm エチルベンゼン:0.88 ppm トルエン:0.07 ppm キシレン:0.20 ppm スチレン:0.05 ppm パラジクロロベンゼン:0.04 ppm ・竣工引渡前に室内空気中化学物質濃度の測定検査を行う。
10 中間技術検査	・行う (1.6.2) ・基礎・地中梁配筋完了時 ・鉄骨建方完了時 ・中間階床版配筋完了時 ・屋上床版配筋完了時 ・天井地下工事完了時 ・その他見え隠れとなる重要部分の工事完了時 ・行わない
⑪ 完成時の提出図書	○完成図(施工図、施工計画書を除く) (1.7.1)(1.7.3) ○完成図CADデータ(CD-R等) ○施工図、施工計画書 ○保全に関する資料(提出部数 1部 部) ○工事写真、各種承諾図、保証書等
⑫ 完成図	完成図の作成方法、原因のサイズ (1.7.2)(表1.7.1) ※請負者にて設計図に基づき全ての図面を完成図として作成(設計図第2原図訂正可)し、糊張製本図面 2部提出する。 ※完成図は、原則として黒文字製本とし、表紙の書き方は現場監督員の指示とする。 ・標準仕様書表1.7.1による
⑬ 工事写真・完成写真	※工事写真 奈良県土マネジメント部監修 工事写真の撮影マニュアルによる。(1.2.4) 区分 分類・規格 撮影枚数 部数 備考 ※着工前 ○作業基準による ○作成基準による ※工事中 同上 ・カラーサービス判 ・0 ・6 ・9 ○カラーキャビネ判 監督員指示による ※完成時 ・カラーライド ・0 ・10 ・20 ・カラーパネル半切 ・0 ・1 ・2 ・モ/加-キャビネ判 ・1 (ただし、上記写真は、アルバム製本とする。) ・完成写真として、全紙パネルを 部提出する。 ・完成写真撮影業者(完成写真撮影場所は監督員の指示による) ・監督員の承諾する撮影業者。
⑭ 設備工事との取合い	施工範囲 ○図示した貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 ○図示した壁、天井仕上材、下地材の切り込み及び下地材の補強 ・駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ・自動閉鎖装置取付の箇所の切り込み及び補強 ・ 施工図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督員の承諾を受ける。
⑮ 設計GL	○図示
16 六価クロム溶出試験等	※六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験) 本工事は「六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験)」の対象工事であり、下記に示す工程についての六価クロム溶出試験(及びタンクリーチング試験)を実施し、試験結果(計量証明書)を提出する。 なお、試験方法は、セメント及びセメント系固着剤を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領による。 六価クロム溶出試験対象工程名及び検体数 柱状地盤改良工事 工 法 : 配合設計段階 検体、施工後段階 検体 工 法 : 配合設計段階 検体、施工後段階 検体
⑰ 環境への配慮	ホルムアルデヒドの放散量が「規制対象外」に該当する材料とは以下のものとする。 1) JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 (1.4.1) 2) 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 3) 下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 ホルムアルデヒドの放散量が「第三种」に該当する材料とは以下のものとする。 1) JIS及びJASのF☆☆規格品 2) 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品 3) IBJISのEo規格品 4) IBJASのFco規格品 アスベスト含有建材 本工事に使用する材料については、標準仕様書1.3.11(b)に準じて、JIS Z 7253による安全データシート(SDS)等により確認を行い、アスベスト含有建材を使用しない。

2 仮設工事

① 足場その他	内部足場 [2.2.1] ※きやたつ、足場板等 ・ 外部足場 [2.2.1] 種類 ※施工面所面に特組足場を設ける。 ・施工面所面にくさび緊結式足場を設ける。 ・施工面所面に単管本足場を設ける。 ・仮設コンドラを使用する。 ・移動式足場を使用する。 ※足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省 平成21年4月)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さ及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり専用足場方式により行うこと。 防護シートによる養生 ○養生シート(防災1類) [2.2.1] ・朝顔養生 ・防音シート ・
② 監督職員事務所	材料、撤去材等の運搬方法 [2.2.1][表2.2.1] ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種 ○設ける (2.3.1) 位置 ・既存建物内の一部を使用する ○構内に新設する 規模 ○10㎡程度 ・20㎡程度 ・30㎡程度 ・ ㎡程度 仕上の程度 部 位 仕 様 床 ○合板張り又はビニル床シート張り 内壁・天井 ○合板張り又は石膏ボード張り+塗装 屋 根 ○塗装溶融亜鉛メッキ鋼板張り又は鉄板張り+塗装 ・ ※設ける(種類及び数量は、監督職員の指示による) ・設けない (2.3.1)
③ 監督職員事務所等の備品等	
① 埋戻し及び盛土	種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (3.2.3)(表3.2.1) C種の場合(建設発生土受入量 ㎡ 発生場所) ※構外搬出適切処理 ・構内指示場所に敷き均し ・構内指示場所にたい積 ・構外指定場所に処分(搬出調査等を提出する) 受け入れ施設名 受け入れ場所 仮置場所 ※ 図示(図面番号) (3.3.3)
2 建設発生土の処理	
3 山留めの存置	
1 既製コンクリート杭地業	材料 (4.3.2)(4.3.6)(4.3.7) 種類・性能 ・ 曲げ強度による ・ 区分 寸法 長さ 断面寸法 継手の箇所数 杭先端部の形状 ・開放形 ・閉そく平たん形 ・半開放形 ・閉そく凹形 杭の継手の工法 ・アーク溶接継手 ・無溶接継手 杭頭の切断方法 ・行わない ・ガイヤードカッター方式 ・外圧方式 工法 (4.3.3)(4.3.4)(4.3.5) ・打込み工法 設計支持力 () 掘削深さ及び径(プレローリングと打撃を併用する場合) () 試験杭 推定支持力の算定方法 () 杭の水平方向の位置ずれの精度 ・100mm以下 ・ ・セメントミルク工法 支持地盤 ※図示(図面番号) アースオーガーの支持地盤への掘削深さ ・1.5m程度 ・ 杭の支持地盤への掘入れ深さ ・1.0m以上 ・ 杭の水平方向の位置ずれの精度 ・100mm以下 ・ ・特定埋込杭工法 支持地盤 ※図示(図面番号) 杭の水平方向の位置ずれの精度 ・100mm以下 ・
② 鋼杭地業	材料 (4.4.2)(4.4.5)(表4.4.1)(表4.4.2) ○鋼管ぐい ・H型 鋼ぐい 種類の記号 ・SKK400 ○SKK490 ・SHK400 ・SHK490M 寸法 ※図示(図面番号) ※図示(図面番号) 先端部形状 ※開放形(打込み工法の場合) 先端部補強 ※標準仕様書図4.4.1及び表4.4.2による(打ち込み工法の場合) 継手の工法 ※現場溶接 ※高力ボルト継手 ・杭頭の処理方法 () (4.4.6) 工法 (4.4.3)(4.4.4) ・打込み工法 設計支持力 () 掘削深さ及び径(プレローリングと打撃を併用する場合) () 試験杭 推定支持力の算定方法 () 杭の水平方向の位置ずれの精度 ・100mm以下 ・

3 場所打ちコンクリート杭地業	○特定埋込杭工法 ○回転杭工法(鋼三誠 ジーエクスバイル工法 同等品) 支持地盤 ※図示(図面番号) 杭の水平方向の位置ずれの精度 ・100mm以下 ・ 材料 (4.5.3)(5.2.1) 鉄筋 規格 ・JIS G 3112 ・SR235 ・SR295 ※SD295A ※D10 ・D13 ・D16 ・SD295B ※SD345 ※D19 ・D22 ・D25 ・D29 ・D32 ・SD390 ・建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けた鉄筋 帯筋 ・ (4.5.3) 鉄筋かごの補強 ※補仕4.5.3(a)(2)(iii)による (4.5.3) かぶり厚さ(mm) ・ (4.5.3) コンクリート セメントの種類 ※高炉セメントB種 ・ (4.5.3)(6.3.1)(表6.3.1) 設計基準強度 ・ (4.5.3) 種別 ・A種 ・B種 (4.5.3)(表4.5.1) 構造体強度補正値(N/mm ²) ※ 3 ・ (4.5.1)(4.5.4)(4.5.5) 掘削工法 ・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法() ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法() ・拡底杭工法() 支持地盤 ※図示(図面番号) (4.5.4)(4.5.5) 孔壁確認 ※超音波測定器 ・目視 (4.5.4)(4.5.5) 杭の水平方向の位置ずれの精度 ・100mm以下 ・ (4.5.4)(4.5.5)
④ 試験杭(試験堀)	位置及び本数 ・ ○図示(試験堀) (4.2.2) 杭の種類 ○本杭と同じ 杭の寸法 長さ 断面寸法 ○本杭と同じ (4.2.3)(4.2.4)
5 杭及び地盤の載荷試験	載荷試験 位置 載荷荷重 ・杭 ・鉛直載荷試験 ※図示(図面番号) ・水平載荷試験 ・地盤 ※平板載荷試験 ※図示(図面番号) ※図示(図面番号)
⑥ 砂利地業及び砂地業	試験方法等は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「敷地調査共通仕様書」による。 砂利地業に使用する砂利 (4.6.2) ※再生クラッシャーラン ・切込み砂利又は切込み砕石 砂利及び砂地業の厚さ(mm) ※60 ○構造特記による (4.6.3)
⑦ 捨てコンクリート地業	厚さ(mm) ※50 ○構造特記による (4.6.4)
8 床下防湿層	防湿層の材料及び施工範囲 (4.6.5) 材 料 施工範囲 ※ポリエチレンフィルム ※図示(図面番号) 厚さ 0.15mm×2枚 ・建物内土間床板及び土間コンクリート下地(ピット下は除く) 重ね幅 縦横共250mm以上
9 地盤改良工事	・セメント系固着材 100kg/㎡混入 ・ 図示(図面番号)

完成図

本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。		施 工	奥村・松塚特定建設工事共同企業体	名称 国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事	縮尺	N○
				図名 特記仕様書-1		意匠 A-02

章	項目	特記事項
7 鉄骨工事	22 アンカーボルト等の設置	アンカーボルト・建方用・構造用 (7.10.3)(表7.10.1)(表7.10.2) 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状及び寸法 () 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ・A種 ・B種 ・C種 柱底均しモルタルの厚さ(mm) () 柱底均しモルタルの工法 ※A種 ・B種
	23 軽量形鋼構造	ボルトの接合の方法 (7.11.2)
	24 溶融亜鉛めっき	鉄鋼の溶融亜鉛めっきの適用 (7.12.4)(表14.2.2)
		溶融亜鉛メッキ高力ボルトを使用する場合の摩擦面の処理 (7.12.4) ・プラスト処理 ・プラスト処理以外の特別な処理方法() すべり耐力等の確認方法 ・図示(図面番号)
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1 補強コンクリートブロック	ブロックの種類 (8.2.2)(8.3.1) 正味厚さ(mm) 呼び寸法(mm) (表8.3.1)以外の長さ 高さ 適用箇所 ※空洞ブロック 16 ・型枠用ブロック 20 標準仕様書表8.2.2以外のコンクリートの設計基準強度(Fc)(N/mm ²) (8.2.4) ※Z1 各部の配筋 (8.2.5) ※図示(図面番号)
	2 コンクリートブロック 縦壁及び横	ブロックの種類 (8.3.2)(表8.3.1) ※標準仕様書表8.3.1による 化粧有リブロックの適用(横の場合) (8.3.2)(表8.3.1) ・適用する ・適用しない 各部の配筋 (8.3.3) ※図示(図面番号)
	3 ALCパネル	パネルの単位荷重 (N/m ²) 厚さ(mm) 長さ(mm) 耐火性能 表面加工 構造の種類 (8.4.2~5)(表8.4.2~4) ・外壁パネル ・間仕切壁パネル ・屋根パネル ・床パネル 外壁、屋根パネルの工法 (8.4.3)(8.4.5) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない 出隅入隅部及び他部材との取合い部の目地幅(mm) ・20 (8.4.3~5) 耐火目地材 ・充填する (8.4.3~5)
	4 押出成形セメント板	種類 (8.5.2~4)(表8.5.1)(表8.5.2) 施工場所 表面形状 厚さ(mm) 取付け工法種別 ・外壁パネル ・デザインパネル(図示)(図面番号) ・タイルベースパネル ・間仕切壁パネル ・デザインパネル(図示) ・タイルベースパネル 外壁パネルの工法 (8.5.3) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない パネル相互の目地幅(mm) (8.5.3)(8.5.4) ※長辺8以上、短辺15以上 出隅入隅部伸縮調整目地の目地幅(mm) (8.5.3)(8.5.4) ※15 標準仕様書8.5.3(i)以外の目地及び隙間の処理 (8.5.3)(8.5.4) ※パネル製造所の仕様による やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。 (8.5.5) ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。 パネルに開口を設ける場合 パネルを切り欠く場合

9 防水工事

1 防水層の下地	(9.2.4)(9.3.4)(9.4.4)(9.5.4) 下地 施工箇所 ・平場 ・床コンクリート直均し ・均しモルタル塗り ・立上り ・コンクリート打放し仕上げ(仕上げの種類 ・A種 ※B種 ・C種) ・均しモルタル塗り	
2 アスファルト防水	防水層の種類 (9.2.3)(表9.2.3~8) 工法 種類 施工場所 ・屋根保護防水密着工法 ・A-1 ・A-2 ・A-3 ・屋根保護防水密着断熱工法 ・A-1-1 ・A-1-2 ・A-1-3 ・屋根保護防水絶縁工法 ・B-1 ・B-2 ・B-3 ・屋根保護防水絶縁断熱工法 ・B-1-1 ・B-1-2 ・B-1-3 ・屋根露出防水絶縁工法 ・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4 ・屋内露出防水絶縁断熱工法 ・D-1-1 ・D-1-2 ・屋内防水密着工法 ・E-1 ・E-2 改質アスファルト防水の種類及び厚さ (9.2.2) ※(表9.2.3)から(表9.2.8)による 部分粘着層付改質アスファルト防水の種類及び厚さ (9.2.2) ※(表9.2.5)から(表9.2.8)による 押さえ金物の材質及び形状寸法(mm) (9.2.2) ※アルミニウム製、L-30×15×2.0程度 断熱材(屋根保護防水断熱工法) (9.2.2) 材質 ※JIS A 9521による押出法※リソフォーム断熱材3種BA(粘着層付き)又はJIS A 9511によるA種押出法※リソフォーム保温材の保温板3種b(粘着あり) 厚さ(mm) ・25 ・50 断熱材(屋根露出防水断熱工法) (9.2.2) 材質 ※JIS A 9521による硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの又はJIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に適合するもの 厚さ(mm) ・25 絶縁用シートに使用する材料 (9.2.2) ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上(屋根保護防水工法の場合) フラットヤーンクロス70g/m ² 程度(屋根保護防水断熱工法の場合) 屋根露出防水絶縁工法の脱気装置の種類及び設置数量 (9.2.3) ※ルーフィング類製造所の指定による 屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 (9.2.3) ※ルーフィング類製造所の指定による 屋根露出防水工法の場合の、仕上塗料塗り (9.2.3) ・有り 種類 () 使用量 () 屋根露出防水絶縁断熱工法の断熱材の張りじまい位置 (9.2.4) ※図示(図面番号) 屋内防水密着工法の保護層 (9.2.3) ・設ける 種類 () 保護層等の施工 (9.2.5) 平場の保護コンクリートの厚さ ※標準仕様書9.2.5(d)(2)による 立上り部の保護の方法 ・れんがが押え(れんがの種類 ※JIS R 1250Iによる) ・モルタル押え(屋内等) ・乾式保護材 ・コンクリート押え 屋上排水溝 (9.2.5) ・図示(図面番号)	
3 改質アスファルトシート防水	防水層の種類 (9.3.3)(表9.3.1~3) 工法 種類 施工場所 ・屋根露出防水密着工法 ・AS-T1 ・AS-T2 ・屋根露出防水絶縁工法 ・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・屋根露出防水絶縁断熱工法 ・AS1-T1 ・AS1-J1 改質アスファルトシートの種類及び厚さ (9.3.2) ※(表9.3.1)から(表9.3.3)による 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ (9.3.2) ※(表9.3.1)から(表9.3.3)による 断熱材(屋根露出防水絶縁断熱工法) (9.3.2) 材質 ※JIS A 9521による硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの又はJIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に適合するもの 厚さ(mm) ・25 屋根露出防水絶縁工法の脱気装置の種類及び設置数量 (9.3.3) ※改質アスファルト製造所の指定による 屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 (9.3.3) ※改質アスファルト製造所の指定による 仕上塗料塗り (9.3.3) ・有り 種類 () 使用量 () 屋根露出防水絶縁断熱工法の防護層 (9.3.3) ・設ける(改質アスファルト製造所の仕様による) ・設けない	
4 合成高分子系ルーフィングシート防水	防水層の種類 (9.4.3)(表9.4.1~3) 工法 種類 施工場所 ・合成高分子系ルーフィングシート ・S-F1 ・S-F2 ・S-M 1 ・S-M 2 ・S-M 3 ・合成高分子系ルーフィングシート 防水工法(断熱工法) ・S 1-F 1 ・S 1-F 2 ・S 1-M 1 ・S 1-M 2 ・合成高分子系ルーフィングシート 防水工法(屋内保護密着工法) ・S-C 1 ルーフィングシートの種類及び厚さ (9.4.2) ※(表9.4.1)から(表9.4.3)による 絶縁用シートの材質 (9.4.2) ※発泡ポリエチレンシート ・ルーフィングシート製造所仕様による 固定金具の材質及び寸法形状 (9.4.2) ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの片面又は両面に樹脂を積層加工した鋼板 断熱材の材質及び厚さ (9.4.2) ※標準仕様書9.4.2(c)(3)による 仕上塗料塗り (9.4.3) ・有り 種類 () 使用量 () 屋内保護密着工法の保護モルタルの厚さ(mm) (9.4.3) 防水下地がPCコンクリート部材下地及びALCパネル下地、種別S-C1の場合の目地処理 (9.4.4) ・図示(図面番号) 入隅部の増張り (9.4.4) 種別S-F1及びS1-F1の場合のPCコンクリート部材の入隅部 ・図示(図面番号) 種別S-C1の場合のALCパネル下地及びPCコンクリート部材の入隅部 ・図示(図面番号) 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け (9.4.4) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1.1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない 保護層の施工(屋内保護密着工法の場合) (9.4.4) 平場のモルタル塗り 床塗りの工法 ※標準仕様書15.2.5(b)(2)及び(3)に準ずる 下地モルタル塗り ※標準仕様書15.2.5(c)(1)に準ずる 平場のコンクリートの厚さ ※標準仕様書9.2.5(d)(2)による 立上り部の保護モルタル厚 ※7mm以下	
5 塗膜防水	防水層の種類 (9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2) 工法 種類 施工箇所 ・ウレタン系 ・X-1 ・X-2 ・ゴムアスファルト系 ・Y-1 ・Y-2 ウレタンゴム系塗膜防水(X-1)の脱気装置の種類及び設置数量 (9.5.3) ※主材料製造所の指定による ウレタンゴム系塗膜防水の、仕上塗料塗り (9.5.3) ・有り 種類 () 使用量 () ゴムアスファルト系(Y-2)の保護層 (9.5.3)(表9.5.2) ・設ける ・設けない	
6 ケイ酸質系塗布防水	防水層の種類 (9.6.1)(9.6.3)(表9.6.1)(表9.6.2) 工法 種類 施工場所 ・ケイ酸質系塗布防水 ※C-U I ・C-U P	
7 漏水試験	室内の水張り試験 ※行う	
8 施工票	※工事完了後に監督職員の指示する位置に取り付ける	
9 シーリング	シーリング材の種類、施工箇所 (9.7.2)(表9.7.1) ※被着体に応じたものとし、標準仕様書表9.7.1を標準とする (但し、カーテンウォール工法を除く) ・種類 () 施工箇所 () シーリング材の目地寸法 (9.7.3) 箇所 幅(mm) 深さ(mm) コンクリート打継ぎ目地、ひび割れ隠蔽目地 ※20以上 ・ ※10以上 ・ ひび割れ目地(標準仕様書16.1.3.0の場合を除く) ※5以上 ・ ※5以上 ・ その他の場合 ※10以上 ・ ※10以上 ・ 接着性試験 (9.7.5) ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験(部位)	
10 石工事	1 施工	石の割付 (10.1.3) ※標準仕様書10.1.3(a)による ・図示(図面番号) 粗面仕上げの場合のみ込み部分の仕上げ (10.1.3) ・図示(図面番号) 床のワックスかけ (10.1.5) ・行う(適用箇所) ・すべて () ・行わない
	2 天然石	(10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2) 施工箇所 品質 種類(産地、名称) 表面磨き仕上げの種類 床 ・1等 ※2等 上記以外 ※1等 ・2等 石材の形状及び寸法 (10.2.1) ※標準仕様書10.2.1(3)による

10 石工事

3 テラゾ(人工大理石)	(10.2.1)(表10.2.2) 種類 種石の種類及び大きさ(mm) 形状 ・テラゾブロック ※大理石 ※1.5~12 ・花こう岩 ・平もの ・役もの ・テラゾタイル ※大理石 ※1.5~12 ・花こう岩 寸法 仕上げ 表面仕上げの種類 ・ 片面仕上げ(小口共粗磨き) ・水磨き ・両面仕上げ*2 ・本磨き ・300型 ・粗磨き ・400型 ・水磨き ・本磨き 外壁湿式工法、内壁空積工法用金物の材質、形状及び寸法 (10.2.2) 受金物 ※標準仕様書10.2.2(a)(2)による 乾式工法用金物の方式 (10.2.2)(表10.2.4) ・スライド方式 ・ロッキング方式 特殊部位用金物の材質、形状等 (10.2.2) 引金物、だぼ、かすがい及び受金物 ※標準仕様書10.2.2(a)による ファスナー ※標準仕様書10.2.2(b)のスライド方式 吊金物 材質 ※ステンレス(SUS304) 形状 ※径6mm×長さ80mmの加工物 化粧吊りボルト 材質 ※ステンレス(SUS304) 形状 ※M10化粧ナット付き アンカーの材質、寸法 (10.2.2) 湿式工法、空積工法の場合 材質 ※SS400 形状 ※M12 乾式工法、特殊部位の場合 材質 ※ステンレス(SUS304) 形状 ※M10 あと施工アンカーの材質、寸法等 (10.2.2) 材質 寸法 その他の取付金物の材質、形状及び寸法 (10.2.2) ※見本又は証明となる資料等を監督職員に提出する。 取付け用モルタル (10.2.3) ※石材施工業者の指定する製品とし、実績等の資料を監督職員に提出する。 既設合の目地用モルタル (10.2.3) ※石材施工業者の指定する製品とし、実績等の資料を監督職員に提出する。 石裏面処理材 (10.2.3) ※石材施工業者の指定する製品とし、実績等の資料を監督職員に提出する。 裏打ち処理材 (10.2.3) ※石材施工業者の指定する製品とし、実績等の資料を監督職員に提出する。 充填材料等(金物の固定に使用) (10.2.3) ※石材施工業者の指定する製品とし、実績等の資料を監督職員に提出する。 ドレンパイプの材質 (10.2.3) ※ステンレス(SUS304) 石材の厚さ(mm) (10.3.2) ※有効厚さ25以上 石裏面処理 ・行う (10.3.2) 裏打ち処理 ・行う (10.3.2) 下地ごしらえ (10.3.3) ※流し筋工法 ・あと施工アンカー工法 ・あと施工アンカー・横筋流し工法 一般目地 (10.3.3) 目地幅(mm) ※6以上 シーリング材 ・適用する 伸縮調整目地 (10.3.3) 位置 ※標準仕様書表11.1.1による シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(a)(3)による
4 取付け金物	外壁湿式工法、内壁空積工法用金物の材質、形状及び寸法 (10.2.2) 受金物 ※標準仕様書10.2.2(a)(2)による 乾式工法用金物の方式 (10.2.2)(表10.2.4) ・スライド方式 ・ロッキング方式 特殊部位用金物の材質、形状等 (10.2.2) 引金物、だぼ、かすがい及び受金物 ※標準仕様書10.2.2(a)による ファスナー ※標準仕様書10.2.2(b)のスライド方式 吊金物 材質 ※ステンレス(SUS304) 形状 ※径6mm×長さ80mmの加工物 化粧吊りボルト 材質 ※ステンレス(SUS304) 形状 ※M10化粧ナット付き アンカーの材質、寸法 (10.2.2) 湿式工法、空積工法の場合 材質 ※SS400 形状 ※M12 乾式工法、特殊部位の場合 材質 ※ステンレス(SUS304) 形状 ※M10 あと施工アンカーの材質、寸法等 (10.2.2) 材質 寸法 その他の取付金物の材質、形状及び寸法 (10.2.2) ※見本又は証明となる資料等を監督職員に提出する。 取付け用モルタル (10.2.3) ※石材施工業者の指定する製品とし、実績等の資料を監督職員に提出する。 既設合の目地用モルタル (10.2.3) ※石材施工業者の指定する製品とし、実績等の資料を監督職員に提出する。 石裏面処理材 (10.2.3) ※石材施工業者の指定する製品とし、実績等の資料を監督職員に提出する。 裏打ち処理材 (10.2.3) ※石材施工業者の指定する製品とし、実績等の資料を監督職員に提出する。 充填材料等(金物の固定に使用) (10.2.3) ※石材施工業者の指定する製品とし、実績等の資料を監督職員に提出する。 ドレンパイプの材質 (10.2.3) ※ステンレス(SUS304) 石材の厚さ(mm) (10.3.2) ※有効厚さ25以上 石裏面処理 ・行う (10.3.2) 裏打ち処理 ・行う (10.3.2) 下地ごしらえ (10.3.3) ※流し筋工法 ・あと施工アンカー工法 ・あと施工アンカー・横筋流し工法 一般目地 (10.3.3) 目地幅(mm) ※6以上 シーリング材 ・適用する 伸縮調整目地 (10.3.3) 位置 ※標準仕様書表11.1.1による シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(a)(3)による
5 その他の材料	取付け用モルタル (10.2.3) ※石材施工業者の指定する製品とし、実績等の資料を監督職員に提出する。 既設合の目地用モルタル (10.2.3) ※石材施工業者の指定する製品とし、実績等の資料を監督職員に提出する。 石裏面処理材 (10.2.3) ※石材施工業者の指定する製品とし、実績等の資料を監督職員に提出する。 裏打ち処理材 (10.2.3) ※石材施工業者の指定する製品とし、実績等の資料を監督職員に提出する。 充填材料等(金物の固定に使用) (10.2.3) ※石材施工業者の指定する製品とし、実績等の資料を監督職員に提出する。 ドレンパイプの材質 (10.2.3) ※ステンレス(SUS304) 石材の厚さ(mm) (10.3.2) ※有効厚さ25以上 石裏面処理 ・行う (10.3.2) 裏打ち処理 ・行う (10.3.2) 下地ごしらえ (10.3.3) ※流し筋工法 ・あと施工アンカー工法 ・あと施工アンカー・横筋流し工法 一般目地 (10.3.3) 目地幅(mm) ※6以上 シーリング材 ・適用する 伸縮調整目地 (10.3.3) 位置 ※標準仕様書表11.1.1による シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(a)(3)による
6 外壁湿式工法	ドレンパイプの材質 (10.2.3) ※ステンレス(SUS304) 石材の厚さ(mm) (10.3.2) ※有効厚さ25以上 石裏面処理 ・行う (10.3.2) 裏打ち処理 ・行う (10.3.2) 下地ごしらえ (10.3.3) ※流し筋工法 ・あと施工アンカー工法 ・あと施工アンカー・横筋流し工法 一般目地 (10.3.3) 目地幅(mm) ※6以上 シーリング材 ・適用する 伸縮調整目地 (10.3.3) 位置 ※標準仕様書表11.1.1による シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(a)(3)による

完成図

本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。		施 工	奥村・松塚特定建設工事共同企業体	名称 国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事	縮尺	N.O.
				図名 特記仕様書-3		意匠 A-04

章	項目	特記事項
15 左官工事	① 既製目地材	※適用する(形状) (15.3.2)
	② モルタル塗り	床の目地 ・ 設ける (15.2.5) 目地工法 ※押し目地(室内は縦横1.8m程度、廊下は3.6m程度の割付け間隔とする)
	③ 床コンクリート直直し仕上げ	塗物、敷物、張物等の下地への適用 (15.3.1) ※適用する(適用範囲)
	4 セルフレバリング材塗り	(15.4.2)(表15.4.1)
	5 仕上げ塗料仕上げ	種類、仕上げの形状、工法 (15.5.2)(表15.5.1)
		種類 呼び名 仕上げの形状 工法 防火材料 備考
	・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材S I ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・ゆず肌状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・可とう形 ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・ゆず肌状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・外装薄塗材E ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・着色骨材 ・砂壁状 ・可とう形外装薄塗材E ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・防水形外装薄塗材E ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状 ・外装薄塗材S ・砂壁状 ・内装薄塗材C ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・内装薄塗材S I ・砂壁状じゆらく ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・内装薄塗材W ・京壁状じゆらく ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・厚付け仕上塗材 ・外装厚塗材C ・吹放し ・凹凸処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し ・掻き落とし ・外装厚塗材S I ・吹放し ・凹凸処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し ・内装厚塗材C ・吹放し ・凹凸処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し ・掻き落とし ・内装厚塗材L ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し ・掻き落とし ・内装厚塗材G ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し ・掻き落とし ・内装厚塗材S I ・吹放し ・凹凸処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し
		種類 施工箇所
		・せっこう系 ・セメント系

		・複層仕上塗材 ・複層塗材C E ・複層塗材S I ・複層塗材E ・複層塗材R E ・可とう形複層塗材C E ・防水形複層塗材C E ・防水形複層塗材R S ・防水形複層塗材R E ・軽量骨材 ・吹付け用軽量塗材 ・仕上塗材 ・複層仕上塗材の耐水性 ・複層仕上塗材の耐水性 ・複層仕上塗材の上塗材 ※水性アクリルのつやあり ALCパネルの内壁目地部の形状 ※V形目地付き 所要量等の確認 ※標準仕様書表15.5.4による 6 ロックウール吹付け 吹付け厚さ(mm) ・ 図示 ・ 25 (15.8.3)
16 建具工事	1 防火戸	防火戸(建築基準法第2条9号の2口の規定に基づき定められたもの又は認定を受けたものをいう。以下同じ。)の指定 (16.1.3) ・ 図示(図面番号) 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸をヒューズ装置、熱感知装置又は煙感知装置と連動させる場合 ・ 図示(図面番号)
	2 見本の製作等	建具見本の製作 ・ 行う(建具番号) (16.1.4) 特殊な建具の仮組 ・ 行う(建具番号) (16.1.4)
	3 防犯建物部品	・ 適用する(建具記号) (16.1.6)
	4 アルミニウム製建具	アルミニウム製建具の性能等級(RC系下地・S系下地) (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1) 性能等級 ・ A種 ・ B種 ・ C種 耐風圧性 ※S-4 ・ ※S-5 ※S-6 気密性 ※A-3 ・ ※A-4 水密性 ※W-4 ・ ※W-5 枠の見込み寸法(mm) ※70 ・ 100 ※100 表面処理 (16.2.4)(14.2.2)(表14.2.1) 施工箇所 種別 着色 外部に面する建具 ※B-1種 ・ ※標準色 ・ 特注色 屋内の建具 ※C-1種 ・ ※標準色 ・ 特注色 水切り、ぜん板等の取り付け ・ 図示(図面番号) (16.2.5) 防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する(建具番号) 遮音性の等級() (16.2.2) 断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する(建具番号) 断熱性の等級() (16.2.2) 耐震ドアセット ・ 適用する(建具番号) 面内変形追随性の等級() (16.2.2) 結露水の処理方法 ・ 図示(図面番号) (16.2.4) 防虫網 (16.2.3) ※合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 線径(mm) ※0.25以上 網目(メッシュ) ※16~18 樹脂製建具の性能等級等 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1) 性能等級 ・ A種 ・ B種 ・ C種 耐風圧性 ※S-4 ・ ※S-5 ※S-6 気密性 ※A-4 水密性 ※W-4 ・ ※W-5 枠見込み寸法(mm) 防音ドアセット、防音サッシ (16.3.2) ・ 適用する(建具番号) 種別() 遮音性の等級() 断熱ドアセット、断熱サッシ (16.3.2) ・ 適用する(建具番号) 種別() 断熱性の等級() 防虫網 (16.3.3) ※合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 線径(mm) ※0.25以上 網目(メッシュ) ※16~18 ガラス ※複層ガラス ・ 単層ガラス ・ 三重ガラス (16.3.4) 表面色 ・ 標準色 ・ 特注色 水切り板、ぜん板等の取り付け ・ 図示(図面番号) (16.3.5) 簡易気密型ドアセット ・ 適用する (16.4.2)(表16.4.1) 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 (16.4.2)(表16.2.1) ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 防音ドアセット、防音サッシ (16.4.2)(16.2.2) ・ 適用する(建具番号) 遮音性の等級() 断熱ドアセット、断熱サッシ (16.4.2)(16.2.2) ・ 適用する(建具番号) 断熱性の等級() 耐震ドアセット (16.4.2)(16.2.2) ・ 適用する(建具番号) 面内変形追随性の等級() 鋼板 ・ JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) (16.4.3) ※めっき付着量 Z12 又は F12 ・ JIS G 3302(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) ※めっき付着量 Y08 鋼板類の厚さ (16.4.4)(表16.4.2) ※標準仕様書表16.4.2による。ただし、片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は、図示による。(図面番号)
	5 樹脂製建具	樹脂製建具の性能等級等 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1) 性能等級 ・ A種 ・ B種 ・ C種 耐風圧性 ※S-4 ・ ※S-5 ※S-6 気密性 ※A-4 水密性 ※W-4 ・ ※W-5 枠見込み寸法(mm) 防音ドアセット、防音サッシ (16.3.2) ・ 適用する(建具番号) 種別() 遮音性の等級() 断熱ドアセット、断熱サッシ (16.3.2) ・ 適用する(建具番号) 種別() 断熱性の等級() 防虫網 (16.3.3) ※合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 線径(mm) ※0.25以上 網目(メッシュ) ※16~18 ガラス ※複層ガラス ・ 単層ガラス ・ 三重ガラス (16.3.4) 表面色 ・ 標準色 ・ 特注色 水切り板、ぜん板等の取り付け ・ 図示(図面番号) (16.3.5) 簡易気密型ドアセット ・ 適用する (16.4.2)(表16.4.1) 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 (16.4.2)(表16.2.1) ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 防音ドアセット、防音サッシ (16.4.2)(16.2.2) ・ 適用する(建具番号) 遮音性の等級() 断熱ドアセット、断熱サッシ (16.4.2)(16.2.2) ・ 適用する(建具番号) 断熱性の等級() 耐震ドアセット (16.4.2)(16.2.2) ・ 適用する(建具番号) 面内変形追随性の等級() 鋼板 ・ JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) (16.4.3) ※めっき付着量 Z12 又は F12 ・ JIS G 3302(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) ※めっき付着量 Y08 鋼板類の厚さ (16.4.4)(表16.4.2) ※標準仕様書表16.4.2による。ただし、片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は、図示による。(図面番号)
6 鋼製建具	簡易気密型ドアセット ・ 適用する (16.4.2)(表16.4.1) 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 (16.4.2)(表16.2.1) ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 防音ドアセット、防音サッシ (16.4.2)(16.2.2) ・ 適用する(建具番号) 遮音性の等級() 断熱ドアセット、断熱サッシ (16.4.2)(16.2.2) ・ 適用する(建具番号) 断熱性の等級() 耐震ドアセット (16.4.2)(16.2.2) ・ 適用する(建具番号) 面内変形追随性の等級() 鋼板 ・ JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) (16.4.3) ※めっき付着量 Z12 又は F12 ・ JIS G 3302(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) ※めっき付着量 Y08 鋼板類の厚さ (16.4.4)(表16.4.2) ※標準仕様書表16.4.2による。ただし、片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は、図示による。(図面番号)	

7 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセット ・ 適用する (16.5.2) 防音ドアセット、防音サッシ (16.5.2)(16.2.2) ・ 適用する(建具番号) 遮音性の等級() 断熱ドアセット、断熱サッシ (16.5.2)(16.2.2) ・ 適用する(建具番号) 断熱性の等級() 耐震ドアセット (16.5.2)(16.2.2) ・ 適用する(建具番号) 面内変形追随性の等級() ビニル被覆鋼板 ・ 適用する(建具番号) (16.5.3) カラー鋼板 ・ 適用する(建具番号) (16.5.3) ステンレス鋼板(JIS G 4305) (16.5.3) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 召合わせ、縦小口包み板等の材質 (16.5.3) ※鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合金の押出成形材 鋼板類の厚さ (16.5.4)(表16.5.1) ※標準仕様書表16.5.1による。ただし、片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は、図示による。(図面番号)
8 ステンレス製建具	簡易気密型ドアセット (16.6.2) ・ 適用する 外部に面するステンレス製建具の耐風圧性の等級 (16.6.2) ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 防音ドアセット、防音サッシ (16.6.2)(16.2.2) ・ 適用する(建具番号) 遮音性の等級() 断熱ドアセット、断熱サッシ (16.6.2)(16.2.2) ・ 適用する(建具番号) 断熱性の等級() 耐震ドアセット (16.6.2)(16.2.2) ・ 適用する(建具番号) 面内変形追随性の等級() ステンレス鋼板(JIS G 4305) ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (16.6.3) 表面仕上げ ※HL (16.6.4)(14.2.1) 曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ (16.6.5) 9 木製建具 (16.7.2)(表16.7.1) 建具材の加工、組立時の含水率 (16.7.2)(表16.7.1) ・ A種 ※B種 ・ C種 枠の材料 ・ くつずりの材料 ・ フラッシュ戸 (16.7.2)(16.7.3)(16.7.4)(表16.7.6)(表16.7.7) 表面材の合板の品質 ※標準仕様書表16.7.2(b)(i)(ii)(iii)による 表面材の合板の種類、厚さ 種類 厚さmm ※普通合板 ※2.5以上 ・ ・天然木化粧合板 ※3.2以上 ・ ・ポリエスチル樹脂合板 ※2.7以上 ・ 定規線(引戸)の召し合わせかまち ・ いんろう付き かまち戸 (16.7.2)(16.7.3)(16.7.4)(表16.7.8) かまちの樹種() 鏡板の樹種() 見込み寸法(mm) ※36を標準 ・ 定規線(引き戸)の召し合わせかまち ・ いんろう付き ふすま (16.7.2)(16.7.3)(16.7.4)(表16.7.9) 上張りの種類 ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子 ・ ビニル紙 ・ 雲花紙(押入等の裏側) 縁の仕上げ ・ 塗り縁 ・ 生地縁 見込み寸法(mm) ※19.5を標準 ・ 戸ふすま 見込み寸法(mm) ※30を標準 ・ (16.7.3) 紙張り障子 見込み寸法(mm) ※30を標準 ・ (16.7.3) 10 建具用金物 (16.8.2)(表16.8.1) 金物の種類及び見掛かり部の材質 建具表 (16.8.2)(表16.8.1) ※標準仕様書表16.8.1及び図示(図面番号)による 樹脂製建具に使用する丁番 (16.8.2)(表16.8.3) ※標準仕様書表16.8.3による 覆り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置 (16.8.3) ※図示(図面番号) 建具表 11 鍵 (16.8.4) マスターキー (16.8.4) ・ 製作する ・ 在来マスターに合わせる ※鍵は、3本1組とし、室名札を付け、一括して鍵箱に収納して引き渡す。 鍵箱は、鍵の個数に相応した鋼製製品とする。 12 自動ドア開閉装置 (16.9.2)(16.9.3) 自動ドア 性能 防錆 センサーの種類 凍結防止 ・ SSLD-1 ※(表16.9.1)による ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2 ・ SWD-1 ※(表16.9.2)による ・ SWD-2 ・ 図示 引戸装置の性能 (16.10.3)(表16.10.1) ※標準仕様書表16.10.1により、適用する戸の質量に応じたもの シャッターの種類 (16.11.2) ・ 管理用シャッター(耐風圧強度) ・ 外壁用防火シャッター(耐風圧強度) ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 開閉機能による種類 (16.11.2)(表16.11.1) ※上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式 シャッターケース ・ 設ける (16.11.2)
13 自閉式上吊り引戸装置	引戸装置の性能 (16.10.3)(表16.10.1) ※標準仕様書表16.10.1により、適用する戸の質量に応じたもの シャッターの種類 (16.11.2) ・ 管理用シャッター(耐風圧強度) ・ 外壁用防火シャッター(耐風圧強度) ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 開閉機能による種類 (16.11.2)(表16.11.1) ※上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式 シャッターケース ・ 設ける (16.11.2)
14 重量シャッター	シャッターの種類 (16.11.2) ・ 管理用シャッター(耐風圧強度) ・ 外壁用防火シャッター(耐風圧強度) ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 開閉機能による種類 (16.11.2)(表16.11.1) ※上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式 シャッターケース ・ 設ける (16.11.2)

16 軽量シャッター	スラット及びシャッターケース用鋼板 (16.11.3) ・ JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 ※Z12又はF12 ガイドレール等のステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、SUS430、SUS443J1 開閉機能による種類 (16.12.2)(表16.12.1) ※手動式 ・ 上部電動式(手動併用) 耐風圧強度 (16.12.2) スラット (16.12.3)(16.12.4) 材質 ※JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 ※Z06 又は F06 ・ JIS G 3322(塗装溶融亜鉛-55%アルミニウム合金メッキ鋼板及び鋼帯) めっき付着量 ※AZ90 形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 (16.13.2)(16.13.3)
17 オーバーヘッドドア	セクション材料による区分 開閉方式による区分 取納形式による区分 ガイドレールの材質 (16.13.2)(16.13.3) ※スチールタイプ ※バルンス式 ※スタンダード形 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ アルミニウムタイプ ・ チェーン式 ・ ローヘッド形 ・ ステンレス鋼板 ・ ファイバーグラスタイプ ・ 電動式 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形 耐風圧性能(JIS A 4715による強さ) (16.13.2) ・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125 18 ガラス (16.14.2) ・ フロート板ガラス 厚さ(mm) (16.14.2) ・ 型板ガラス 品種 (16.14.2) 厚さ(mm) ・ 2 ・ 4 ・ 6 ・ 網入板ガラス及び線入板ガラス (16.14.2) 網又は線の形状及び板の表面の状態による種類 厚さ(mm) 網入板ガラス 網入型板 ・ ひし網入型板ガラス ・ 6.8 ガラス 角網入型板ガラス ・ 6.8 網入磨き ・ ひし網入磨き板ガラス ・ 6.8 ・ 10 ガラス 角網入磨き板ガラス ・ 6.8 線入板ガラス 線入型板ガラス ・ 6.8 線入磨き板ガラス ・ 6.8 ・ 10 ・ 合わせガラス (16.14.2) 形状 特性による種類 材料板ガラスの種類、厚さ 合計厚(mm) ・ 平面 ・ I類 ・ II-2類 (ガラス種別(厚さ)+ガラス種別(厚さ)+…) ・ II-1類 ・ III類 ・ 曲面 ・ I類 (ガラス種別(厚さ)+ガラス種別(厚さ)+…) ・ 強化ガラス (16.14.2) 材料板ガラスの種類による名称 呼び厚(mm) 特性による種類 ・ 型板強化ガラス ※4 ・ ・ I類 ・ フロート強化ガラス ・ ・ III類 ・ 熱線反射強化ガラス ・ ・ 熱線吸収板ガラス (16.14.2) 板ガラスの種類 厚さ(mm) 性能による種類 ・ 熱線吸収フロート板ガラス ・ ・ 1種 ・ 2種 ・ 熱線吸収磨き板ガラス ・ ・ 熱線吸収網入磨き板ガラス ※6.8 ・ 熱線吸収線入磨き板ガラス ・ ・ 熱線吸収網入型板ガラス ・ ・ 複層ガラス (16.14.2) 断熱性、日射熱減へいによる種類 材料板ガラスの種類、厚さ 厚さ(mm) ・ 断熱複層ガラス ・ ・ 1種 ・ 2種 ・ 日射熱減へい複層ガラス4種 ・ 5種 ・ 熱線反射板ガラス (16.14.2)(16.14.4) 材料板ガラスの種類 日射熱減へいによる区分映像調整 厚さ(mm) ・ フロート板ガラス ・ 1種 ・ 行う ・ 6 ・ 磨き板ガラス ・ 2種 ・ 行わない ・ 8 ・ 熱線吸収フロート板ガラス・3種 ・ 10 ・ 熱線吸収磨き板ガラス ・ 12 ・ 平面強化ガラス ・ 倍強度ガラス (16.14.2) 材料板ガラスの種類 厚さ(mm) ・ フロート板ガラス ・ 6 ・ 8 ・ 10 ・ 12 ・ 熱線吸収フロート板ガラス ・ 6 ・ 8 ・ 10 ・ 12 ・ 磨き板ガラス ・ 6 ・ 8 ・ 10 ・ 12 ・ 熱線吸収磨き板ガラス ・ 6 ・ 8 ・ 10 ・ 12 ・ 熱線吸収ガラス ・ 6 ・ 8 ・ 10 ・ 12

本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。		施 奥村・松塚特定建設工事共同企業体	名称 国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事	縮尺	N.O.
		工	図名 特記仕様書-5		意匠 A-06

完成図

項目	特記事項
16 19 ガラス留め材	(16.14.2) 建具の種類 ガラス留め材 アルミニウム製 ・ガasket ・ガラス留め材(特異品70mmの引違い、片引き開きの場合) ・ ・シーリング材(SR-1)引違い開き以外の部分に使用 鋼製 ・シーリング材(SR-1) ステンレス製 ・シーリング材(SR-1) 板ガラスをはめ込む溝の大きさ (16.14.3)(表16.14.1) ※標準仕様書表16.14.1による (アルミニウム製建具、鋼製建具及びステンレス製建具の場合) (強化ガラス及び倍強度ガラスを使用する場合を除く)
20 ガラスブロック積み	(16.14.5) ガラスブロック 表面形状 呼び寸法(mm) 厚さ(mm) ・正方形 125×125 160×160 80 95 125 ・200×200 320×320 ・長方形 250×125 320×160 80 95 壁用金属枠及び補強材 図示(図面番号) 力骨 (16.14.5) 材質 寸法(mm) 形状 ※ステンレス鋼(SUS304) ※径5.5 ※はしご形状複筋及び単筋 化粧目地モルタルの色 (16.14.5) シーリング材 (16.14.5)(表9.7.1) ※被着体に応じたものとし、標準仕様書9.7.1を標準とする。 図示(図面番号) 金属製化粧カバーの材質、寸法及び形状 (16.14.5) 図示(図面番号) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 (16.14.5) 目地 (16.14.5) 目地幅 平積み ※8mm以上、15mm以下 曲面積み ※標準仕様書16.14.5(b)(2)(i)による 伸縮調整目地 (16.14.5) 位置 ※標準仕様書16.14.5(b)(2)(ii)による 目地部の力骨の補強方法 ※ガラスブロック製造所の仕様による (16.14.5)
17 1 カーテンウォールの性能	(17.1.3)(表16.2.1) 性能値 耐風圧性 S-4 S-5 耐温度差性(°C) T-1 T-2 T-3 耐震性 水平方向 鉛直方向 遮音性 水密性 W-1 W-2 W-3 断熱性 H-1 H-2 H-3 気密性 A-1 A-2 耐火性(h) A-3 A-4 性能の確認方法及び判定方法 (17.1.3) ※標準仕様書17.1.3(C)による
2 3 カーテンウォール	(17.2.2) 金属材料の種類 ・アルミニウム製 ・鋼製 ・ステンレス製 見え掛り部分の仕上げ (17.2.3) ガラス溝の形状及び寸法等 (17.2.3) ※カーテンウォール製作所の仕様による 製品の寸法許容差 (17.2.3)(表17.2.1) ※標準仕様書表17.2.1による(アルミニウム合金鋳物を除く) 躯体付け金物取付け位置の寸法許容差 (17.2.5)(表17.2.2) ※標準仕様書表17.2.2による カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 (17.2.5)(表17.2.3) ※標準仕様書表17.2.3による
3 PCカーテンウォール	(17.3.2)(表6.10.1) コンクリート 種類 設計基準強度(Fc) 所要スラブ容積質量 所要気乾単位容積質量 単位水量の最大値 ※標準仕様書表6.10.1の1種 ※30N/mm ² ※12cm以下 ※1.9t/m ³ 以下 ※180kg/m ³ 鉄筋の種類及び記号 (17.3.2) ※SD295A 補強鉄線の寸法 (17.3.2) ※径3.2mm以上 ゴンドラ用ガイドレール (17.3.2) 図示(図面番号) 製品の見え掛り部の寸法許容差 (17.3.3)(表17.3.1) ※標準仕様書表17.3.1による PCカーテンウォールの仕上げ (17.3.3) ・タイル ・天然石 アンカー溝の寸法及び寸法許容差 (17.3.3) 図示(図面番号) 鉄筋の配筋 (17.3.4) 配筋 ※標準仕様書17.3.4(b)(1)による 躯体付け金物取付け位置の寸法許容差 (17.3.5)(表17.2.2) ※標準仕様書表17.2.2による カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 (17.3.5)(表17.3.2) ※標準仕様書表17.3.2による

4 シーリング材	種類 (17.2.2)(17.3.2)(表9.7.1) ※被着体に応じたものとし、標準仕様書表9.7.1を標準とする ・図示(図面番号)
5 ガラス取付材料	シーリング材 (17.2.2)(17.3.2)(表9.7.1) 種類 ※被着体に応じたものとし、標準仕様書表9.7.1を標準とする ・図示(図面番号) 構造ガasket (17.2.2)(17.2.6)(17.3.2)(17.3.6) 形状及び寸法 図示(図面番号) ガラスの取付方法 図示(図面番号)
6 断熱材	(17.2.2)(17.3.2) 工法 種類 厚さ(mm) 施工場所 ・現場発泡工法
18 1 防火材料	(18.1.3) ※屋内の壁、天井の仕上材は、防火材料とする。 ・次の場所を除き、防火材料とする。()
2 素地ごしらえ	(18.2.2)(表18.2.1) 種類 木部 不透明塗料塗りの場合 ※A種 B種 (18.2.3)(表18.2.2) 透明塗料塗りの場合 A種 ※B種 鉄鋼面 A種 B種 ※C種 モルタル面、プラスター面 A種 ※B種 (18.2.5)(表18.2.4) コンクリート面、ALCパネル面(耐水性塗料塗り以外の場合) (18.2.6)(表18.2.5) 石こうボード、その他のボード面 A種 ※B種 (18.2.7)(表18.2.7) 石こうボードの目地工法が継目処理工法の場合 ※A種 A種 ※B種 上記以外 A種 ※B種
3 錆止め塗料塗り	錆止めの塗料の種類 垂鉛めっき鋼面 (18.3.2)(表18.3.2) つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-0)の場合 A種 B種 ※C種 上記以外 A種 B種 C種 錆止め塗料塗り 鉄鋼面 (18.3.3)(表18.3.3) 見え掛り部分 ※A種 B種 見え隠れ部分 A種 ※B種 垂鉛めっき鋼面 (18.3.3)(表18.3.4) 鋼製建具等 ※A種 B種 上記以外 A種 ※B種
4 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	塗料の種類 (18.4.2) ※1種 2種 木部合成樹脂調合ペイント塗り (18.4.3)(表18.4.1) 屋外 ※A種 B種 屋内 A種 ※B種 鉄鋼面の合成樹脂調合ペイント塗りの種類 (18.4.4)(表18.4.2) A種 ※B種
5 クリヤラッカー塗り(DL)	クリヤラッカー塗りの種類 A種 ※B種 (18.5.2)(表18.5.1)
6 7 9 樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗りの種類 (18.6.2)(表18.6.1) A種 ※B種
7 耐水性塗料塗り(DP)	コンクリート面及び押出成形セメント板耐水性塗料塗りの種類 (18.7.4)(表18.7.3) A種 B種 C種 上塗り塗料等級 (18.7.2)(18.7.3)(18.7.4) 鉄鋼面 級 垂鉛めっき鋼面 級 コンクリート面及び押出成形セメント板面 級
8 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-0)	屋外のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 (18.8.2)(表18.8.1) A種 ※B種 屋内の鉄鋼面つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類(18.8.4)(表18.8.3) A種 ※B種
9 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)	合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 (18.9.2)(表18.9.1) A種 ※B種
10 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)	合成樹脂エマルジョン模様塗料塗りの種類 (18.10.2)(表18.10.1) A種 ※B種
11 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	ウレタン樹脂ワニス塗りの種類 (18.11.2)(表18.11.1) A種 ※B種
12 ラッカーエナメル塗り(LE)	ラッカーエナメル塗りの種類 (18.12.2)(表18.12.1) A種 ※B種
13 木材保護塗料塗り(WP)	木材保護塗料塗りの種類 (18.14.2)(表18.14.1) A種 ※B種 (19.2.2)(19.2.3) 種類の記号 厚さ(mm) 色柄 工法 ※FS ※2.0 ※無地 熱溶接 ・突付け
19 1 ビニル床シート	(19.2.2)(19.2.3) 種類の記号 厚さ(mm) 色柄 工法 ※FS ※2.0 ※無地 熱溶接 ・突付け
2 ビニル床タイル	(19.2.2) 種類 厚さ(mm) 品質・規格

3 帯電防止床シート、床タイル、防滑性床シート、床タイル	(19.2.2) 種類 性能 厚さ(mm) ・帯電防止床シート ・帯電防止床タイル ・体積抵抗値 >Ω以下 ・2.0
4 視覚障害者用床タイル	(19.2.2) 種類 寸法(mm) 厚さ(mm) ・
5 耐動荷重性床シート	(19.2.2) 種類 厚さ(mm)
6 ビニル幅木	(19.2.2) 材質 高さ(mm) 厚さ(mm) ・軟質 ※60 ※1.5以上
7 ゴム床タイル	(19.2.2) 種類 厚さ(mm)
8 カーペット敷き	(19.3.3)(19.3.4)(表19.3.1) 織じゅうたん 種類 織り方 バイル形状 帯電性 品質の程度 ・A種 ・ウィルトン ・カットバイル ・適用する ・B種 ・ダブルフェイス ・ループバイル (性能: 人体帯電圧 ・C種 ・アキンスター ・カット、ループ併用 3kV以下) (品質の程度は参考商品である) タフトカーペット (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2) バイル形状 バイル長(mm) 帯電性 工法 品質の程度 ・カットバイル ・適用する ※全面接着工法 ² ・ループバイル (性能: 人体帯電圧 ・カット、ループ併用 3kV以下) ・ダブルバイル (品質の程度は参考商品である) グリッパー工法に使用する下敷き材 (19.3.3) 品質 呼び厚さ(mm) ※JIS L 3204の第2種2号 ※8 取付用付属品 (19.3.3) 見切り (材質 >種類 >形状 >)> 押え金物 (材質 >種類 >形状 >)>
9 合成樹脂塗床	(19.4.2)(19.4.3)(表19.4.1~8) 種類 工法 仕上げの種類 ・厚膜型塗床材 ※平滑仕上げ 弾性ウレタン樹脂系塗床 ※平滑仕上げ ・つや消し仕上げ ・厚膜型塗床材 ・薄膜流し展べ工法 ※平滑仕上げ エポキシ樹脂系塗床 ・厚膜流し展べ工法 ※平滑仕上げ ・樹脂モルタル工法 ・薄膜型塗床材
10 フローリング張り	(19.5.2~6)(表19.5.1~5) 単層フローリング 種類 工法 樹種 厚さ(mm) 大きさ(mm) 仕上塗装 ・フローリング ・釘留め工法 ※なら 15 板幅 75 板上 塗装品 ・(根張り) 板長さ 500以上 無塗装品 ・釘留め工法(直張り) ※なら ※12以上 板幅 75 板長さ 300以上 ・接着工法 ※なら ※12以上 板幅 75 板長さ 300以上 ・フローリング ・接着工法 ※なら 15 303×303 塗装品 ・フローリング ・接着工法 無塗装品 ・フローリング ・接着工法 塗装品 ・フローリング ・接着工法 無塗装品

複合フローリング	(19.5.2~6)(表19.5.1~5) 種類 工法 樹種 厚さ(mm) 大きさ(mm) 種類 防湿処理 仕上塗装 ・天然木 化粧複合 フローリング ・釘留め工法(根張り) ・釘留め工法(直張り) ・接着工法 ※なら 板厚 ・8以上 ・板幅 ・75以上 ・板長さ ・900以上 ・A種 ・B種 ※C種 ・適用する ・塗装品 ・無塗装品
現場塗装仕上	(19.5.6) ・行う(施工箇所) ※外装樹脂ワニス塗り ・内装樹脂ワニス塗りのうえでの塗り ・生地のままでの塗り
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類	(19.5.5) ・図示 接着工法の場合のフローリング裏面の緩衝材 ※合成樹脂発泡シート
11 畳敷き	(19.6.2)(表19.6.1) 種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)
12 石こうボード、その他ボード及び合板張り	(19.7.2)(表19.7.1) 名称 種類 厚さ(mm) せつこうボード ・せつこうボード(GB-R) ・シージングせつこうボード(GB-S) ・強化せつこうボード(GB-F) ・化粧せつこうボード(GB-D) ・せつこうラスボード(GB-L) ・不燃層せつこうボード(GB-NC) ・9.5 吸音材 ・ロックウール吸音フェルト(RW-F) ・ロックウール吸音ボード(RW-B) ・ロックウール吸音ブランケット(RW-BL) ・グラスウール吸音フェルト(GW-F) ・グラスウール吸音ボード(GW-B) ・ロックウール化粧吸音板(DR) ・12・12(溝付) ・吸音用インシュレーションファイバーボード(1B) ・吸音用木毛セメント板(WWCB) ・吸音用あなあきせつこうボード(GB-P) ・吸音用あなあきハードファイバーボード(HB-P)
パーティクルボード	・素地パーティクルボード研磨板(RS) ・単板張りパーティクルボード研磨板(VS) ・化粧パーティクルボード単板オーバーレイ(DV) ・プラスチックオーバーレイ(DO) ・塗装(DC)
繊維強化セメント板	・0.8けい酸カルシウム板(0.8FK) ・1.0けい酸カルシウム板(1.0FK) ・6.0
木毛セメント板	・硬質木毛セメント板(HW) ・中質木毛セメント板(MW) ・普通木毛セメント板(NW)
木片セメント板	・硬質木片セメント板(HF) ・普通木片セメント板(NF)
繊維強化セメント板	・素地 ・スタンダードボード ・テンバードボード ・内装用化粧ハードボード ・ミディアムデンシティファイバーボード(MDF) ・その他
合板	(19.7.3)(表19.7.3) 名称 種類 表板の樹種名 板面の品質 処理 厚さ(mm) ・普通合板 ・防虫 ・難燃 ・しな程度 種類 化粧加工の方法 樹種名 処理 厚さ(mm) ・天然木 化粧合板 ・なら ・防虫 ・難燃 ・種類 化粧加工の方法 樹種名 処理 厚さ(mm) ・特殊加工 化粧合板 ・オーバーレイ ・グリット ・塗装 ・防虫 ・難燃

章	項目	特記事項																																																									
19 内装工事	13 壁紙張り	遮音シール材 (19.7.2) ・アクリル系シール材 ・ケトン系シール材 ・ジョイントコンパウンド 下地 ・軽量鉄骨下地 ・木造下地 合板類の張付け (19.7.3) 種別 ・A種 ※B種 せっこうボードの目地工法の種類 (19.7.3)(表19.7.5) ・目透し工法 ・突付け工法 ・継目処理工法 (19.8.2) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品質の程度</th> <th>防火性能の等級</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・不燃 ・準不燃</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・不燃 ・準不燃</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・不燃 ・準不燃</td> </tr> </table> (品質の程度は参考商品である) 素地ごしらえ モルタル面、プaster面 ・A種 ※B種 (19.8.3)(表18.2.4) コンクリート面 ・A種 ※B種 (19.8.3)(表18.2.5) せっこうボード面 ・A種 ※B種 (19.8.3)(表18.2.7)	施工箇所	品質の程度	防火性能の等級			・不燃 ・準不燃			・不燃 ・準不燃			・不燃 ・準不燃																																													
		施工箇所	品質の程度	防火性能の等級																																																							
		・不燃 ・準不燃																																																									
		・不燃 ・準不燃																																																									
		・不燃 ・準不燃																																																									
14 断熱材	・断熱材打込み工法 (19.9.2) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ビーズ法[※] リスルフォーム断熱材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・押出法[※] リスルフォーム断熱材 (※仕様なし)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム断熱材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ビーズ法[※] リスルフォーム保温材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・押出法[※] リスルフォーム保温材 (※仕様なし)</td> <td>・保温板(2種b)</td> <td>・25</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・保温板(3種b)</td> <td>・25</td> <td>・接合部分</td> </tr> <tr> <td>・A種硬質ウレタンフォーム保温材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・断熱材現場発泡工法 (19.9.3) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>吹付け厚さ(mm)</th> <th>施工場所</th> </tr> <tr> <td>※A種1</td> <td>・15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A種2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A種3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種2</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 上記保温材は、特定フロンを含まないものとする	種類	種別	厚さ(mm)	施工箇所	・ビーズ法 [※] リスルフォーム断熱材				・押出法 [※] リスルフォーム断熱材 (※仕様なし)				・硬質ウレタンフォーム断熱材				・フェノールフォーム断熱材				・ビーズ法 [※] リスルフォーム保温材				・押出法 [※] リスルフォーム保温材 (※仕様なし)	・保温板(2種b)	・25			・保温板(3種b)	・25	・接合部分	・A種硬質ウレタンフォーム保温材				・フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く)				種類	吹付け厚さ(mm)	施工場所	※A種1	・15		・A種2			・A種3			・B種1			・B種2		
種類	種別	厚さ(mm)	施工箇所																																																								
・ビーズ法 [※] リスルフォーム断熱材																																																											
・押出法 [※] リスルフォーム断熱材 (※仕様なし)																																																											
・硬質ウレタンフォーム断熱材																																																											
・フェノールフォーム断熱材																																																											
・ビーズ法 [※] リスルフォーム保温材																																																											
・押出法 [※] リスルフォーム保温材 (※仕様なし)	・保温板(2種b)	・25																																																									
	・保温板(3種b)	・25	・接合部分																																																								
・A種硬質ウレタンフォーム保温材																																																											
・フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く)																																																											
種類	吹付け厚さ(mm)	施工場所																																																									
※A種1	・15																																																										
・A種2																																																											
・A種3																																																											
・B種1																																																											
・B種2																																																											
20 ユニット及びその他工事	1 フリーアクセスフロアー (20.2.2)	フリーアクセスフロアーの材質 表面仕上げ材の材質 ・タイルカーベット ・帯電防止ビニル床タイル 高さ(mm) ・500×500 寸法(mm) 耐荷重性能 ・3000N-たわみ5.0mm以下 ・5000N-たわみ5.0mm以下 耐震性能																																																									
	2 可動間仕切 (20.2.3)	構造形式による種類 ・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式 構成基材の種類 <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>基材</th> </tr> <tr> <td>・スチール</td> <td>・アルミニウム合金系 ・スチール系</td> </tr> <tr> <td>・パネル</td> <td>・木質系 ・樹脂系 ・石膏系 ・ペーパー系</td> </tr> </table> パネル表面仕上げ ・指定色焼付け塗装 ・壁紙 遮音性(dB/500Hz) ・0・12・20・28・36 パネル内に取り付ける建具の寸法及び形状 (20.2.3) ※図示(図面番号)	種類	基材	・スチール	・アルミニウム合金系 ・スチール系	・パネル	・木質系 ・樹脂系 ・石膏系 ・ペーパー系																																																			
種類	基材																																																										
・スチール	・アルミニウム合金系 ・スチール系																																																										
・パネル	・木質系 ・樹脂系 ・石膏系 ・ペーパー系																																																										
3 移動間仕切 (20.2.4)	パネルの操作方法 ・手動式 ・電動式 による種類 ・部分電動式 パネル材質 ※鋼板 ・ラワン合板 表面材仕上げ ・焼付け塗装(指定色) ・壁紙張り パネル圧接装置 ・ハンドル回転式 ・プッシュ式 の操作方法 遮音性(dB/500Hz) ・36未満 ・36以上 厚さ(mm) ・80 パネル内に取り付ける建具の形状及び寸法 (20.2.4) ※図示(図面番号) ハンガーレール取付け下地の補強 ※標準仕様書20.2.4(3)による ハンガーレールの固定方法 (20.2.4)(14.1.3) ※溶接又はあと施工アンカー 材質： 径： (あと施工アンカーの場合)																																																										
4 トイレブース (20.2.5)	表面材の材質 (20.2.5) ・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 脚部 ※幅木タイプ ・脚部タイプ (20.2.5)																																																										

5 階段滑り止め (20.2.6)	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>取付工法</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※接着工法 ・埋込み工法</td> </tr> </table>	材種	形状	寸法(mm)	取付工法				※接着工法 ・埋込み工法										
材種	形状	寸法(mm)	取付工法																
			※接着工法 ・埋込み工法																
6 黒板 (20.2.8)	種類 ※焼付け 色 ※緑																		
7 鏡 (20.2.9)	厚さ(mm) ※5 品質の程度は 同等品																		
8 表示 (20.2.10)	・衝突防止表示 材質、形状及び寸法 ※図示(図面番号) ・非常用出入口の表示 (20.2.10) ※消防法に適合する市販品とする ・誘導標識の表示 (20.2.10) ※消防法に適合する市販品とする ・室名札、ピクトグラフ及び案内板等 ※図示(図面番号) (20.2.10) 形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ・室名札 同等品 ・ピクトサイン 同等品																		
9 煙突ライニング (20.2.11)	煙突用成形ライニング材 ・適用する 適用安全使用温度(℃)																		
10 ブラインド (20.2.12)	操作方法 ・電動 ・手動 <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>横型ブラインド</th> <th>縦形ブラインド</th> </tr> <tr> <td>ブラインドの種類</td> <td>※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>開閉方式 ・片開き ・両開き 操作方式 ・1本操作コード ※2本操作コード</td> </tr> <tr> <td>スラットの幅(mm)</td> <td>※25 ・35 ・50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ヘッドボックスの材質</td> <td>※鋼製</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボトムレールの材質</td> <td>※鋼製</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スラットの材質</td> <td>※アルミニウム合金製 ・鋼製</td> <td>・アルミスラット ・クロススラット</td> </tr> </table> ※ブラインドの取付け箇所等 ※図示(図面番号) (20.2.12)	形式	横型ブラインド	縦形ブラインド	ブラインドの種類	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	開閉方式 ・片開き ・両開き 操作方式 ・1本操作コード ※2本操作コード	スラットの幅(mm)	※25 ・35 ・50		ヘッドボックスの材質	※鋼製		ボトムレールの材質	※鋼製		スラットの材質	※アルミニウム合金製 ・鋼製	・アルミスラット ・クロススラット
形式	横型ブラインド	縦形ブラインド																	
ブラインドの種類	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	開閉方式 ・片開き ・両開き 操作方式 ・1本操作コード ※2本操作コード																	
スラットの幅(mm)	※25 ・35 ・50																		
ヘッドボックスの材質	※鋼製																		
ボトムレールの材質	※鋼製																		
スラットの材質	※アルミニウム合金製 ・鋼製	・アルミスラット ・クロススラット																	
11 ロールスクリーン (20.2.13)	<table border="1"> <tr> <th>ロールスクリーンの操作方式</th> <th>幅</th> <th>高さ</th> <th>スクリーンの材質、品質等</th> </tr> <tr> <td>・スプリング式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コード式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・電動式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 材質、品質の程度は参考商品名である ※ロールスクリーンの取付け箇所等 ※図示(図面番号) (20.2.13) 巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料 ※製造所の仕様による (20.2.14)(表20.2.1)	ロールスクリーンの操作方式	幅	高さ	スクリーンの材質、品質等	・スプリング式				・コード式				・電動式					
ロールスクリーンの操作方式	幅	高さ	スクリーンの材質、品質等																
・スプリング式																			
・コード式																			
・電動式																			
12 カーテン (20.2.14)	<table border="1"> <tr> <th>名称、品質</th> <th>シングルダブルの別</th> <th>形式</th> <th>開閉操作方式</th> <th>ひだの種類</th> </tr> <tr> <td>・ポリエステル製</td> <td>シングル ダブル</td> <td>片引き 引分け</td> <td>電動 ひも引き 手引き</td> <td></td> </tr> </table> 品質の程度は参考商品名である (20.2.14) カーテン用きれ地 <table border="1"> <tr> <th>きれ地の種別</th> <th>品質</th> <th>特殊加工</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 暗幕用カーテンの両端、上部、召合わせの重なり(mm) (20.2.14) ※300以上	名称、品質	シングルダブルの別	形式	開閉操作方式	ひだの種類	・ポリエステル製	シングル ダブル	片引き 引分け	電動 ひも引き 手引き		きれ地の種別	品質	特殊加工					
名称、品質	シングルダブルの別	形式	開閉操作方式	ひだの種類															
・ポリエステル製	シングル ダブル	片引き 引分け	電動 ひも引き 手引き																
きれ地の種別	品質	特殊加工																	
13 カーテンレール (20.2.14)	<table border="1"> <tr> <th>レール及びブラケットの寸法による区分</th> <th>レールの材料による区分</th> <th>レールの仕上げ</th> <th>レールの形状</th> </tr> <tr> <td>※10-90</td> <td>※7mm以下及び7mm以上合金の押し出し成型材</td> <td>※アルマイト</td> <td>※角型 ・C型 ・D型</td> </tr> <tr> <td>・10-60</td> <td></td> <td></td> <td>・I型 ・H型</td> </tr> </table>	レール及びブラケットの寸法による区分	レールの材料による区分	レールの仕上げ	レールの形状	※10-90	※7mm以下及び7mm以上合金の押し出し成型材	※アルマイト	※角型 ・C型 ・D型	・10-60			・I型 ・H型						
レール及びブラケットの寸法による区分	レールの材料による区分	レールの仕上げ	レールの形状																
※10-90	※7mm以下及び7mm以上合金の押し出し成型材	※アルマイト	※角型 ・C型 ・D型																
・10-60			・I型 ・H型																
14 ブラインドボックス及びカーテンボックス (20.2.14)	清形×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示 材質 ・集成材(仕上げ) ・アルミニウム製 押し出し型材(市販品) 表面処理 ・C-1 ・C-2(・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー) ・鋼製(仕上げ)																		
15 アコーディオンドア (20.3.2)	表面材 ・ビニルレザー張り(防災加工)																		
16 プレキャストコンクリート (20.3.3)	補強鉄線の径(mm) ※3.2以上 コンクリートの設計基準強度(Fc) (20.3.3) ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m ³ を満足する強度																		
17 間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2)	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>材料</th> <th>質量区分</th> </tr> <tr> <td>・間知石</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート間知ブロック</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 間知石積み (20.4.3) <table border="1"> <tr> <th>積み方</th> <th>目塗り</th> <th>伸縮調整目地の材質、厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・布積み ・行う</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※谷積み</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	区分	材料	質量区分	・間知石			・コンクリート間知ブロック			積み方	目塗り	伸縮調整目地の材質、厚さ(mm)	・布積み ・行う			※谷積み		
区分	材料	質量区分																	
・間知石																			
・コンクリート間知ブロック																			
積み方	目塗り	伸縮調整目地の材質、厚さ(mm)																	
・布積み ・行う																			
※谷積み																			
18 敷地境界石種 (20.2.5)	・花崗岩類(文字記号等入り) ・コンクリートブロック製の市販品程度																		

19 四角トラス材 (21.2.1)	※ 口450×450 トラス支柱材(深田鉄工 パーフェクトビーム同等品)																																													
20	※																																													
21 排水工事 (21.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>排水管用材料</th> <th>種類・記号</th> <th>形状</th> <th>強さ(KN/m)</th> <th>呼び径</th> <th>基層の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・通心力鉄筋コウラト管</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○硬質PVCリネ化ビニル管</td> <td>・VP ○VU</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○図示</td> </tr> <tr> <td>・硬質PVCリネ化ビニル管継手</td> <td>・RS-VU</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・DV</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 排水用硬質PVCリネ化ビニル管継手 ※接着剤 ・ゴム輪 (21.2.2)	排水管用材料	種類・記号	形状	強さ(KN/m)	呼び径	基層の厚さ(mm)	・通心力鉄筋コウラト管						○硬質PVCリネ化ビニル管	・VP ○VU				○図示	・硬質PVCリネ化ビニル管継手	・RS-VU						・DV																			
排水管用材料	種類・記号	形状	強さ(KN/m)	呼び径	基層の厚さ(mm)																																									
・通心力鉄筋コウラト管																																														
○硬質PVCリネ化ビニル管	・VP ○VU				○図示																																									
・硬質PVCリネ化ビニル管継手	・RS-VU																																													
	・DV																																													
22 舗装工事 (21.3.1)	<table border="1"> <tr> <th>規格名称</th> <th>種類</th> <th>呼び</th> </tr> <tr> <td>プレキャスト無筋コンクリート製品</td> <td></td> <td>・A ・B ・C</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・片面歩車道境界ブロック</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・両面歩車道境界ブロック</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・地先境界ブロック</td> </tr> </table> ・L型 側溝 (21.3.1)(表21.3.1) <table border="1"> <tr> <th>規格名称</th> <th>種類</th> <th>呼び</th> </tr> <tr> <td>・プレキャスト無筋コンクリート製品</td> <td></td> <td>・250A ・250B</td> </tr> <tr> <td>・プレキャスト鉄筋コンクリート製品</td> <td></td> <td>・1種 ・250A ・250B ・300 ・350</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・2種 ・500A ・500B ・500C</td> </tr> </table> ・U型 側溝 (21.3.1)(表21.3.1) <table border="1"> <tr> <th>規格名称</th> <th>種類</th> <th>呼び</th> </tr> <tr> <td>プレキャスト鉄筋コンクリート製品</td> <td></td> <td>・1種 ・2種</td> </tr> </table> ・U型 側溝ふた (21.3.1)(表21.3.1) <table border="1"> <tr> <th>規格名称</th> <th>種類</th> <th>呼び</th> </tr> <tr> <td>プレキャスト鉄筋コンクリート製品</td> <td></td> <td>・1種 ・150 ・180 ・240</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・2種 ・300 ・360 ・450</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・600</td> </tr> </table> 砂利地業の厚さ(mm) ※100 (21.3.1)	規格名称	種類	呼び	プレキャスト無筋コンクリート製品		・A ・B ・C			・片面歩車道境界ブロック			・両面歩車道境界ブロック			・地先境界ブロック	規格名称	種類	呼び	・プレキャスト無筋コンクリート製品		・250A ・250B	・プレキャスト鉄筋コンクリート製品		・1種 ・250A ・250B ・300 ・350			・2種 ・500A ・500B ・500C	規格名称	種類	呼び	プレキャスト鉄筋コンクリート製品		・1種 ・2種	規格名称	種類	呼び	プレキャスト鉄筋コンクリート製品		・1種 ・150 ・180 ・240			・2種 ・300 ・360 ・450			・600
規格名称	種類	呼び																																												
プレキャスト無筋コンクリート製品		・A ・B ・C																																												
		・片面歩車道境界ブロック																																												
		・両面歩車道境界ブロック																																												
		・地先境界ブロック																																												
規格名称	種類	呼び																																												
・プレキャスト無筋コンクリート製品		・250A ・250B																																												
・プレキャスト鉄筋コンクリート製品		・1種 ・250A ・250B ・300 ・350																																												
		・2種 ・500A ・500B ・500C																																												
規格名称	種類	呼び																																												
プレキャスト鉄筋コンクリート製品		・1種 ・2種																																												
規格名称	種類	呼び																																												
プレキャスト鉄筋コンクリート製品		・1種 ・150 ・180 ・240																																												
		・2種 ・300 ・360 ・450																																												
		・600																																												
1 路床 (22.2.2)(22.2.3)	遮断層 ・設ける (22.2.2)(22.2.3) <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>材料</th> <th>品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 凍上抑制層 ・設ける (22.2.2)(22.2.3) <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>材料</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> 透水性舗装のフィルター層の厚さ(mm) (22.2.3) 車道部 ・ 歩道部 ・ 路床安定処理 ・行う (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.2) 方法 ※添加材料による安定処理 <table border="1"> <tr> <th>品質</th> </tr> <tr> <td>厚さ(mm) ・</td> </tr> <tr> <td>目標CBR ・</td> </tr> <tr> <td>添加材料 ・</td> </tr> <tr> <td>・普通ポルトランドセメント</td> </tr> <tr> <td>・高炉セメントB種</td> </tr> <tr> <td>・フライアッシュセメントB種</td> </tr> <tr> <td>・生石灰特号</td> </tr> <tr> <td>・生石灰1号</td> </tr> <tr> <td>・消石灰特号</td> </tr> <tr> <td>・消石灰1号</td> </tr> </table> ・ジオテキスタイルによる安定処理	厚さ(mm)	材料	品質				厚さ(mm)	材料			品質	厚さ(mm) ・	目標CBR ・	添加材料 ・	・普通ポルトランドセメント	・高炉セメントB種	・フライアッシュセメントB種	・生石灰特号	・生石灰1号	・消石灰特号	・消石灰1号																								
厚さ(mm)	材料	品質																																												
厚さ(mm)	材料																																													
品質																																														
厚さ(mm) ・																																														
目標CBR ・																																														
添加材料 ・																																														
・普通ポルトランドセメント																																														
・高炉セメントB種																																														
・フライアッシュセメントB種																																														
・生石灰特号																																														
・生石灰1号																																														
・消石灰特号																																														
・消石灰1号																																														

2 路盤 (22.2.3)(表22.3.1)	盛土用材料の標準仕様書表3.2.1による種別 (22.2.3)(表3.2.1) ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う (22.2.5) 路床締固め試験 ・行う (22.2.5) 砂の粒度試験 ・行う (22.2.3) 発生土の処理 ※構外搬出適切処理 (22.2.4)																																	
3 アスファルト舗装 (22.4.2)	舗装の種類と路盤の厚さ (22.3.2)(表22.3.1) <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th colspan="2">路盤の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <th>車道部</th> <th>歩道部</th> </tr> <tr> <td>・アスファルト舗装</td> <td>・100 ・150 ・250 ・350</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カラー舗装</td> <td>・100 ・150 ・250 ・350</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○コンクリート舗装</td> <td>150</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>・透水性アスファルト舗装</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・排水性アスファルト舗装</td> <td>・100 ・150 ・250</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・イナ-ロウガ-ア-ロウ舗装</td> <td>・100 ・150 ・250</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>・転圧コンクリート舗装</td> <td>150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート平板舗装</td> <td></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>・舗石舗装</td> <td></td> <td>50</td> </tr> </table> 路盤材料 (22.3.3)(表22.3.3) ※砕石及び再生材のクラッシュラン又はクラッシュラン鉄鋼スラグ 路盤の締固め試験 ※行う ・行わない (22.3.5)	舗装の種類	路盤の厚さ(mm)			車道部	歩道部	・アスファルト舗装	・100 ・150 ・250 ・350		・カラー舗装	・100 ・150 ・250 ・350		○コンクリート舗装	150	100	・透水性アスファルト舗装			・排水性アスファルト舗装	・100 ・150 ・250		・イナ-ロウガ-ア-ロウ舗装	・100 ・150 ・250	100	・転圧コンクリート舗装	150		・コンクリート平板舗装		100	・舗石舗装		50
舗装の種類	路盤の厚さ(mm)																																	
	車道部	歩道部																																
・アスファルト舗装	・100 ・150 ・250 ・350																																	
・カラー舗装	・100 ・150 ・250 ・350																																	
○コンクリート舗装	150	100																																
・透水性アスファルト舗装																																		
・排水性アスファルト舗装	・100 ・150 ・250																																	
・イナ-ロウガ-ア-ロウ舗装	・100 ・150 ・250	100																																
・転圧コンクリート舗装	150																																	
・コンクリート平板舗装		100																																
・舗石舗装		50																																
4 コンクリート舗装 (22.5.2)	アスファルト舗装の構成及び厚さ (22.4.2) ※図示 車道部の基層の適用 ・適用する (22.4.2) 舗装の平坦性 (22.4.2) ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 加熱アスファルト混合物等の種類 (22.4.4)(表22.4.6) <table border="1"> <tr> <th>表層</th> <th>○密粒度アスファルト混合物</th> <th>○13</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・細粒度アスファルト混合物</td> <td>・13F</td> </tr> </table> シールコート ・行う (22.4.5) アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う (22.4.6)	表層	○密粒度アスファルト混合物	○13		・細粒度アスファルト混合物	・13F																											
表層	○密粒度アスファルト混合物	○13																																
	・細粒度アスファルト混合物	・13F																																
5 カラー舗装 (22.6.2)	コンクリート舗装等の構成及び厚さ (22.5.2)(22.5.3)(表22.5.1)(表22.5.2) <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>舗装の厚さ(mm)</th> <th>コンクリート</th> </tr> <tr> <td>○コンクリート舗装</td> <td>車道部</td> <td>※150</td> <td>※標準仕様書表22.5.2による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>歩道部</td> <td>※70</td> <td></td> </tr> </table> 寒冷地での縁部立下り寸法等 (22.5.2) 舗装の平坦性 (22.5.2) ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 早強セメント ・使用する (22.5.3) 注入目地材料の種別 (22.5.3)(表22.5.3) ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ	舗装の種類	部位	舗装の厚さ(mm)	コンクリート	○コンクリート舗装	車道部	※150	※標準仕様書表22.5.2による		歩道部	※70																						
舗装の種類	部位	舗装の厚さ(mm)	コンクリート																															
○コンクリート舗装	車道部	※150	※標準仕様書表22.5.2による																															
	歩道部	※70																																
6 透水性アスファルト舗装 (22.6.2)(22.4.2)	カラー舗装の種類 (22.6.2) <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> </tr> <tr> <td>※加熱系</td> <td>・アスファルト混合物 ・車道部 ・石油樹脂系混合物 ・歩道部</td> </tr> <tr> <td>・常温系</td> <td>・樹脂系混合物 ・車道部及び歩道部 ・ニート工法</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・塗布工法</td> </tr> </table> 舗装の平坦性 (22.6.2)(22.4.2) ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 加熱系混合物に使用する材料 (22.6.3) 添加する着色骨材又は自然石 加熱系混合物の結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料の添加量 (22.6.4) 樹脂系混合物、ニート工法及び塗布工法の配合その他 (22.6.4) 加熱系混合物の抽出試験 ・行う (22.6.6)(22.4.6)	舗装の種類	部位	※加熱系	・アスファルト混合物 ・車道部 ・石油樹脂系混合物 ・歩道部	・常温系	・樹脂系混合物 ・車道部及び歩道部 ・ニート工法		・塗布工法																									
舗装の種類	部位																																	
※加熱系	・アスファルト混合物 ・車道部 ・石油樹脂系混合物 ・歩道部																																	
・常温系	・樹脂系混合物 ・車道部及び歩道部 ・ニート工法																																	
	・塗布工法																																	
7 ブロック系舗装 (22.8.2)	シールコート ・行う (22.7.5)(22.4.5) 透水性アスファルト混合物の抽出試験 ・行う (22.7.6)																																	
8 砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1)	仕上り面の平坦性 (22.8.2) ※歩行に支障となる段差のないものとし、段差は3mm以内 ・コンクリート平板舗装 (22.8.2)(22.8.3) <table border="1"> <tr> <th>目地材</th> <th>平板の種類及び寸法</th> </tr> <tr> <td>※砂</td> <td>※N300</td> </tr> <tr> <td>・モルタル</td> <td></td> </tr> </table> ・インターロッキングブロック舗装 (22.8.3) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>曲げ強度</th> <th>形状、寸法</th> <th>表面加工</th> </tr> <tr> <td>※普通ブロック</td> <td>※5N/mm²</td> <td>※図示(図面番号)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・透水性ブロック</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・保水性ブロック</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・舗石舗装 (22.8.2)(22.8.3) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法、形状</th> <th>舗石の基層</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・アスファルト混合物 ・コンクリート版</td> </tr> </table> ジオテキスタイル ・適用する (22.8.3) 品質 種別 (22.9.2)(表22.9.1) <table border="1"> <tr> <th>通路</th> <th>建物周囲その他</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・A種 ※B種 ・A種 ※B種</td> </tr> </table>	目地材	平板の種類及び寸法	※砂	※N300	・モルタル		種類	曲げ強度	形状、寸法	表面加工	※普通ブロック	※5N/mm ²	※図示(図面番号)		・透水性ブロック				・保水性ブロック				種類	寸法、形状	舗石の基層			・アスファルト混合物 ・コンクリート版	通路	建物周囲その他		・A種 ※B種 ・A種 ※B種	
目地材	平板の種類及び寸法																																	
※砂	※N300																																	
・モルタル																																		
種類	曲げ強度	形状、寸法	表面加工																															
※普通ブロック	※5N/mm ²	※図示(図面番号)																																
・透水性ブロック																																		
・保水性ブロック																																		
種類	寸法、形状	舗石の基層																																
		・アスファルト混合物 ・コンクリート版																																
通路	建物周囲その他																																	
	・A種 ※B種 ・A種 ※B種																																	

本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。		施 工	奥村・松塚特定建設工事共同企業体	名称 国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事	縮尺	N.O.
				図名 特記仕様書-7		意匠 A-08

完成図

23 植栽及び屋上緑化工事

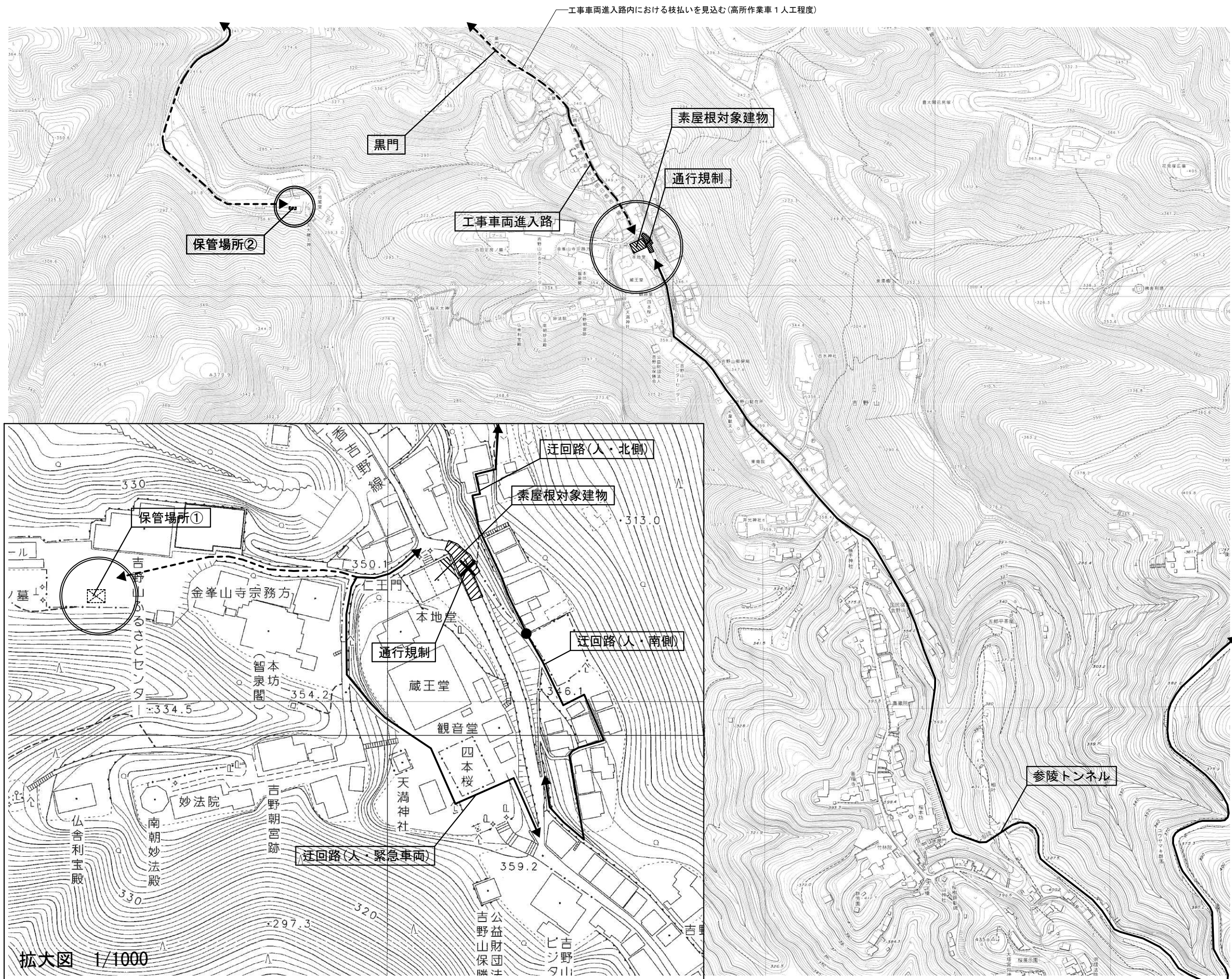
章	項目	特記事項																					
23	1 植栽地の確認等	土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・ 行う (23. 1. 3) 電気伝導度の試験 ・ 行う (23. 1. 3) 腐植含有量の試験 ・ 行う (23. 1. 3)																					
	2 植栽基盤整備工法	(23. 2. 2) 有効土層として整備する面積及び厚さ (表23. 2. 1) ※標準仕様書表23. 2. 11による 排水工法 (23. 2. 2) ・ 暗きよ ・ 開きよ ・ 排水層 ・ 縦穴排水 植栽基盤整備工法の種別 (23. 2. 2) (表23. 2. 2) ・ 樹木 ※A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 芝及び地被類 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種																					
	3 植樹	・ 土壌改良材 (23. 2. 2) (23. 2. 3) 種類 仕様 ・ パーク堆肥 ・ 下水汚泥コンポスト ・ 発生土の処理 (23. 2. 4) ※構外搬出適切処理 樹木 (23. 3. 2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>株立数</th> <th>刈込みものの適用</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 新植樹木の枯補償期間 (23. 3. 4) ※引渡しの日から1年 ・ 移植樹木の枯損処置を行う期間 (23. 3. 6) ※引渡しの日から1年 ・	樹種	寸法	株立数	刈込みものの適用	数量																
	樹種	寸法	株立数	刈込みものの適用	数量																		
	4 支柱材	(23. 3. 2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>支柱材</th> <th>防腐処理方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※丸太</td> <td>※加圧式防腐処理 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 真竹</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 幹巻き用材料 (23. 3. 2) ※幹巻き用テープ ・ わら及びこも 支柱形式 (23. 3. 3) ・ 添え柱形 ・ 鳥居形 ・ ハツ掛け形 ・ 布掛け形 ・ ワイヤ掛け形 ・ 地下埋設形	支柱材	防腐処理方法	※丸太	※加圧式防腐処理 ・	・ 真竹																
	支柱材	防腐処理方法																					
	※丸太	※加圧式防腐処理 ・																					
	・ 真竹																						
	5 芝張り、吹き付けは種及び地被類	芝の種類 ※コウライシバの類 ・ ノシバの類 (23. 4. 2) 芝張りの工法 (23. 4. 3) 平地 ※目地張り ・ べた張り 法面 ・ 目地張り ※べた張り 吹付けは種用種子等の種子 (23. 4. 2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種子の種類</th> <th>量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※洋芝類 (発芽率90%)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 地被類 (23. 4. 2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹種</th> <th>芽立数</th> <th>コンテナ径</th> <th>単位面積当たりのコンテナ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 枯損した芝及び地被類の処置 (23. 4. 7) (23. 3. 4) ※引渡しの日から1年 ・	種子の種類	量	※洋芝類 (発芽率90%)				樹種	芽立数	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数											
種子の種類	量																						
※洋芝類 (発芽率90%)																							
樹種	芽立数	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数																				
6 屋上緑化	屋上緑化システム (23. 5. 2) (23. 5. 3) <table border="1"> <thead> <tr> <th>土壌層の厚さ</th> <th>植込み用土</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 15cm ・ 30cm</td> <td>・ 人工軽量土 ※改良土</td> </tr> </tbody> </table> 屋上緑化システムの排水層 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>層の厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軽量骨材 ・ 火山砂利 ・ 黒曜石パーライト ・ 膨張性頁岩</td> <td></td> </tr> <tr> <td>板状成形品</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (23. 5. 3) (23. 4. 2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹木</th> <th>樹種又は種類</th> <th>寸法</th> <th>株立数</th> <th>刈込みもの</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芝</td> <td>※コウライシバの類 ・ ノシバの類</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 地被類 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 (23. 5. 3) ※図示 (図面番号) ・ 「屋根ふき材及び屋外に面する壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」による風圧力に対応した固定方法 ・ 適用する (23. 5. 4) 支柱 ・ 設置する (23. 5. 4) 形式 ・ 抵抗板設置固定法 ・ かん水装置 ・ 設置する 種類 () (23. 5. 4) 新植樹木、芝及び地被類の枯補償 (23. 5. 5) (23. 3. 4) (23. 4. 7) ※引渡しの日から1年 ・	土壌層の厚さ	植込み用土	・ 15cm ・ 30cm	・ 人工軽量土 ※改良土	種類	層の厚さ	軽量骨材 ・ 火山砂利 ・ 黒曜石パーライト ・ 膨張性頁岩		板状成形品		樹木	樹種又は種類	寸法	株立数	刈込みもの	数量	芝	※コウライシバの類 ・ ノシバの類				
土壌層の厚さ	植込み用土																						
・ 15cm ・ 30cm	・ 人工軽量土 ※改良土																						
種類	層の厚さ																						
軽量骨材 ・ 火山砂利 ・ 黒曜石パーライト ・ 膨張性頁岩																							
板状成形品																							
樹木	樹種又は種類	寸法	株立数	刈込みもの	数量																		
芝	※コウライシバの類 ・ ノシバの類																						

本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。		施	奥村・松塚特定建設工事共同企業体	名称	国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事	縮尺	—	No.	—
		工		図名	特記仕様書-8			意匠	A-09

完成図

設計概要				諸官庁届一覧表 ※各種届出については、施工時期に合わせて施工者の方で作成すること。														
1 一般事項				関連法令等	関係部署名	協議内容	備考											
工事名称	国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事			建築基準法	中和土木事務所	・素屋根は大規模で長期間設置することになるが、基本的には仮設である。 ・仮設として取り扱い、建築基準法の対象とはならない。												
敷地位置	〒639-3115 奈良県吉野郡吉野山2498番地 金峯山寺境内地内			建築主 (氏名)奈良県文化・教育・くらし創造部文化財保存事務所長 榎 (TEL) (FAX) (住所)	道路法	吉野土木管理課	・原則、道路幅員の1/8以内の占用であるが地元住民の同意及び警察の同意があればこの限りではない。 ・既設擁壁の安全性の為、道路に杭を打設することは支障なし。 ・原則、車道上部は4.5mを確保することになっているが、道中の状況により4.0mでも可能である。 ・占用は1年単位が基本であるが、1年毎に更新すれば問題ない。 ・素屋根部分は35条占用、その他は24条許可として申請すること。	※ 着工時に提出 ※ 素屋根解体時は杭を撤去すること。(別途) ※ 上部1.5mは砂、以下はセメントミルクにて復旧。 ※ 素屋根解体時の内容は外構図による。(別途)										
	都市計画区域	○都市計画区域内(○市街化区域 ○市街化調整区域) ●都市計画区域外				吉野町暮らし環境整備課	・東側道路から西側の下り坂部分は町道となるので、別で道路占用を提出すること。	※ 着工時に提出 ※ 素屋根解体時の内容は外構図による。(別途)										
	用途地域	○第1低住専 ○第2低住専 ○第1中高住専 ○第2中高住専 ○第1住居 ○第2住居 ○準住居 ○近隣商業 ○商業 ○準工業 ○工業 ○工業専用 ●指定なし				吉野警察署	・東側道路部分は白線引き等で注意喚起すること。 ・北東の角は、コーナーガードの設置や注意喚起、大型カーブミラー等の設置を検討すること。 ・東側は暗くなるため、照明等の配慮をすること。 ・速度制限や高さ規制の警視看板を設置すること。	※ 着工時に提出 ※ 素屋根解体時の内容は外構図による。(別途)										
	防火地域	○防火 ○準防火 ●指定なし ○法22条指定区域 ○2つの地域にわたる場合 (防火 m ² 準防火 m ²)				消防法	奈良県広域消防組合	・今回2,000㎡を超えても素屋根が期間限定の仮設であるため、I型パッケージ型消火栓設備としてよい。 ・ただし4階となる場合、又は2,000㎡を大幅に超える場合は32条適用願出書を提出すること。 ・自動火災報知設備の受信機設置場所は宗務庁内とすること。 ・感知器は全て炎感知器を設置すること。 ・既設の消火栓は公設消火栓のため、なくすことはできないので本工事で移設すること。 ・消防検査を行うので、着工届及び設置届を提出すること。	※ 着工時に提出 ※ 公設消火栓は素屋根解体時に現況復旧の必要はない。 ※ 素屋根設置後も消防用設備等の点検結果報告を行うこと。									
	その他の指定(都市計画)	○美観地区 ○風致地区 ○歴史的風土保存地区 ○駐車場整備地区 ○土地区画整理事業地区 ○m高度地区 ○特定街区 ○宅地造成工事規制区域 ○砂防地区 ○総合的設計による1団地 ○その他 ○農地転用 ○開発許可				労働基準法	大淀労働基準監督署	・組立てから解体まで60日を超え、かつ10mを超える場合に届出を行う事。 ・枠組み又は単管足場については30日前に届出が必要である。 ・ホイストクレーンの設置は0.5t以上~3.0t未満で届出が必要である。 ・本体のトラス足場については届出は不要である。 ・ただし、高さが31mを超える場合は計画届けが必要になるので、今回は届出が必要となる。 届出は着手の14日前に提出とする。	※ 着工時に提出 ※ 各種仮設の計算は施工者で行う(四角トラス関係は計算書有り)									
道路	道路巾員	西側 約4.5m、東側 約6.0m		形態規制	高度地区	無 ・ 有 内容: 高さ規制												
面積	敷地面積	約 1,110 m ²		高度利用地区	無 ・ 有 内容: 容積率規制 %以上													
	建築面積	申請部分	申請以外の部分	合計	934.69 m ²													
	延べ面積	申請部分	申請以外の部分	合計	2,199.90 m ²													
2 建物概要				防火法	斜線制限	道路斜線 無 ・ 隣地斜線 無 ・ 北側斜線												
棟名	素屋根・作業場			日影規制	有 ・ 無 ・ 規制地域に影を落とす													
建物用途	建築用仮設足場(素屋根)			総合設計														
工事種別	新築			建ぺい率														
構造・規模	鉄骨(四角トラス材)			容積率														
耐火建築物	その他			ゴミ収集	吉野町暮らし環境整備課	・通行止めの間の崖下のゴミは集積できる場所まで施工者の方で移動しておくこと。 ・通行止めの間の収集車は境内の中を通行するものとする。												
基礎・杭	直接基礎(置き基礎)			バス関係	吉野大峯ケーブル自動車線	・走行テストにて確認。支障なし。												
屋根	波板鋼板葺き・折板葺き(一部ポリカーボネート板)			吉野町文化観光交流課 吉野町教育委員会事務局 吉野町総務課 吉野町総合政策課	・走行テストにて確認。支障なし。 ・杭及び基礎の長期の通行止めは子供達に負担の少ない夏休みとする。 ・工程が決まり次第、教育委員会と協議を行うこと。(7月ダイヤは6月上旬に決定する必要がある。)													
外壁	防火シート・メッシュシート			水道関係	吉野町上下水道課	・県道に本管が2本とテレメーター用の電気配線が通っているので注意すること。 ・杭は干渉しない位置に設計してあるが、杭工事施工前に受注者が吉野町と再度協議すること。												
軒裏	屋根材表し			防犯関係	セコム	・既設の鋼管柱は仮撤去とし、将来再使用とする。	※ 素屋根撤去時に同じ位置に復旧できるよう明示等すること。											
建築面積	934.69 m ²																	
床面積計	2,199.90 m ²																	
各階床面積	3F:二重目軒足場 601.73 m ²																	
	2F:一重目軒足場 790.27 m ²																	
	1F:二王門GL 807.90 m ²																	
	高さ																	
増・改築経歴等																		
建築設備の種類	●給水	●排水	●電気	○ガス	●換気	○空調	●選管計	○昇降機	○非常用照明	○非常用エレベーター	○排煙設備	○警備保障						
消防設備の種類	●自動火災報知設備	○非常警報	●誘導標識誘導灯	○漏電警報	●屋内消火栓	○スプリンクラー	○連絡送水管	○消防水利	○屋外消火栓	○非常コンセント	○連絡散水	●消火器						
求積図																		
<p>本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。</p>																		
名称	国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事			縮尺				N.O.										
図名	工事概要・求積図			施	奥村・松塚特定建設工事共同企業体			意匠	A-10									

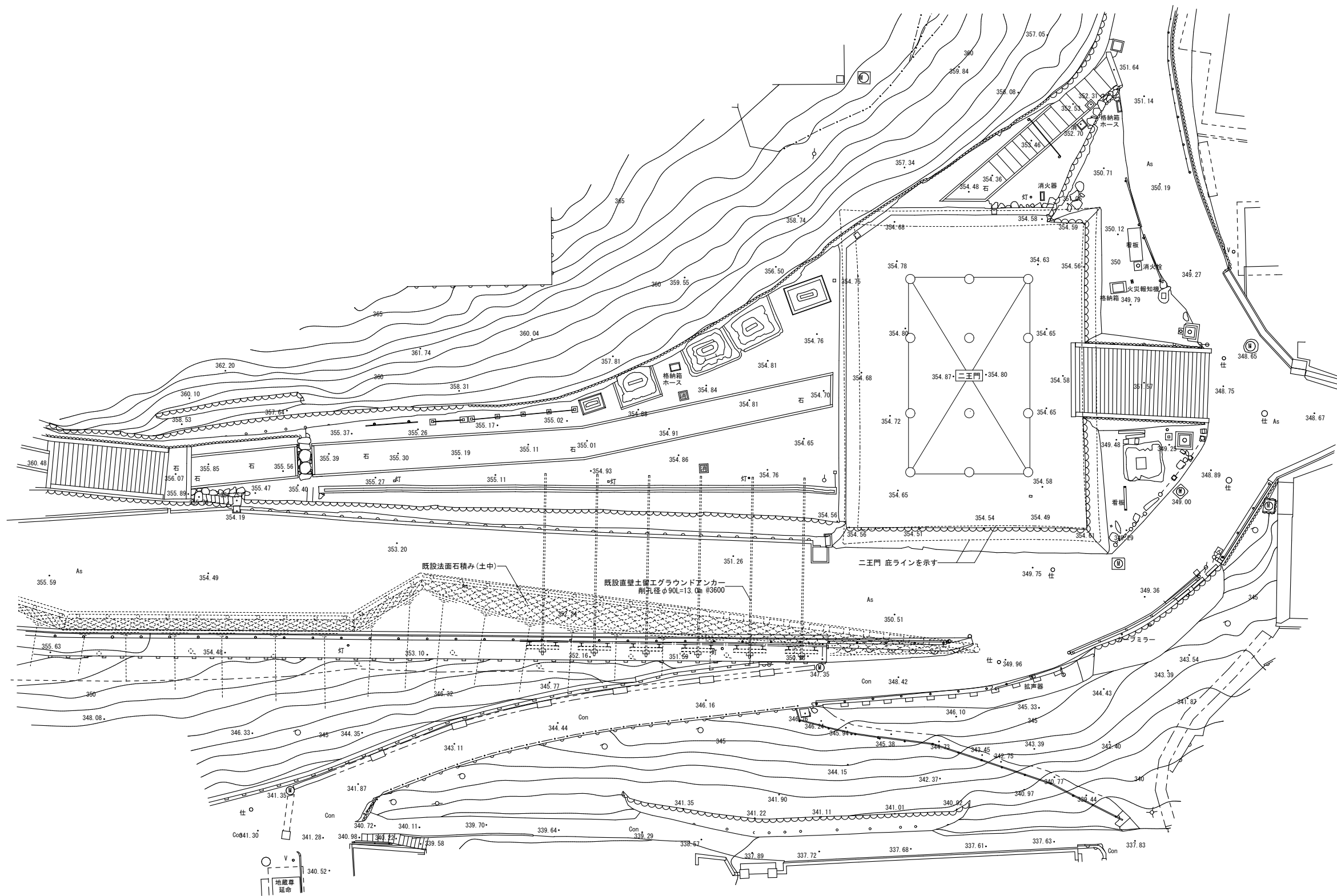
完成図



本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。

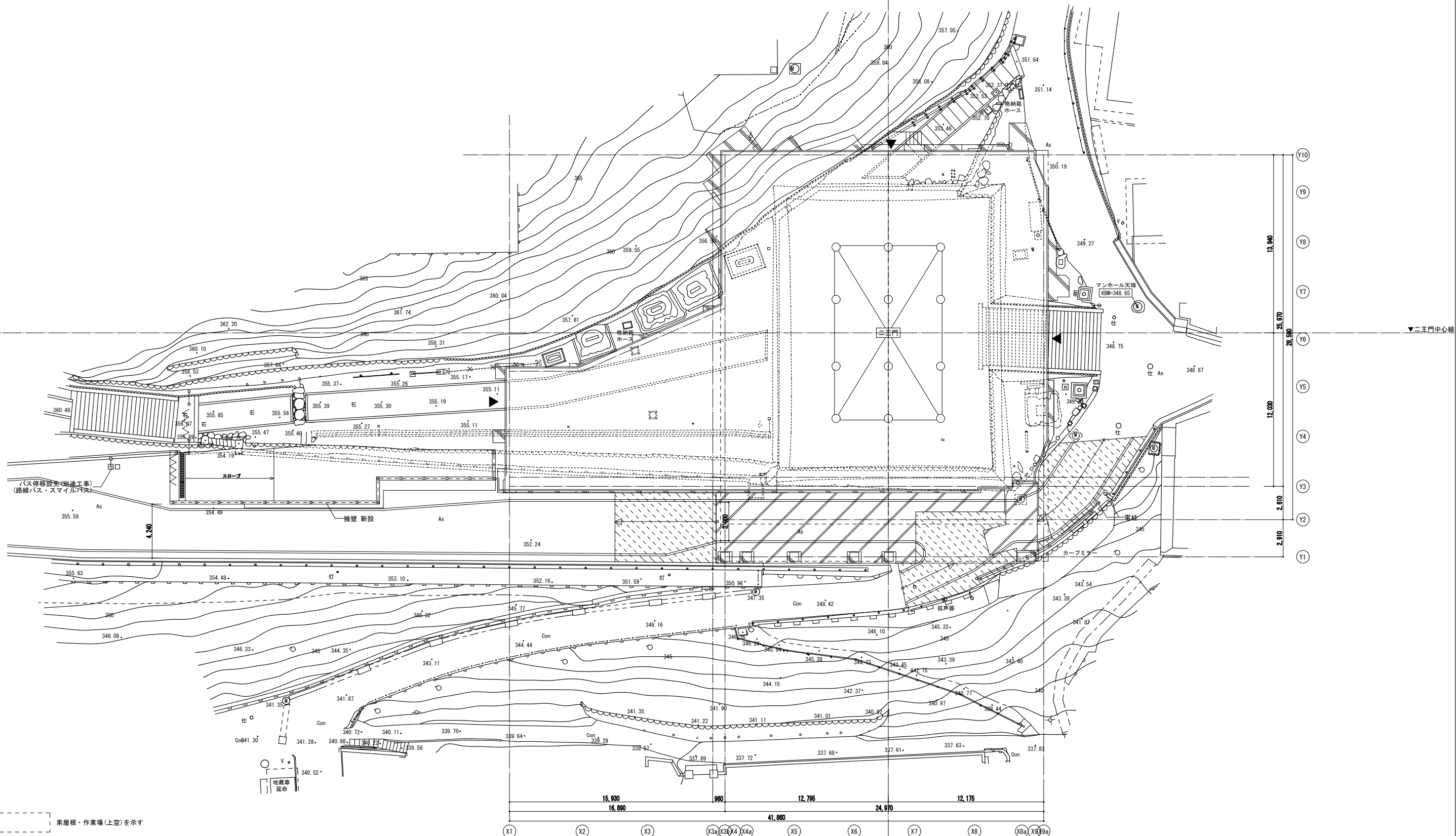
施	奥村・松塚特定建設工事共同企業体	名称	国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事
工		図名	付近見取図


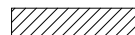
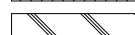
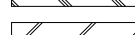
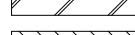
縮尺	1/2500 (A1) 1/5000 (A3)	No.	意匠 A-11
----	----------------------------	-----	------------



完成図

<p>本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。</p>		<p>施 奥村・松塚特定建設工事共同企業体</p>	<p>名称 国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事</p>	<p>縮尺 1/150 (A1) 1/300 (A3)</p>	<p>No. 意匠 A-12</p>
		<p>工</p>	<p>図名 配置図(現況)</p>		

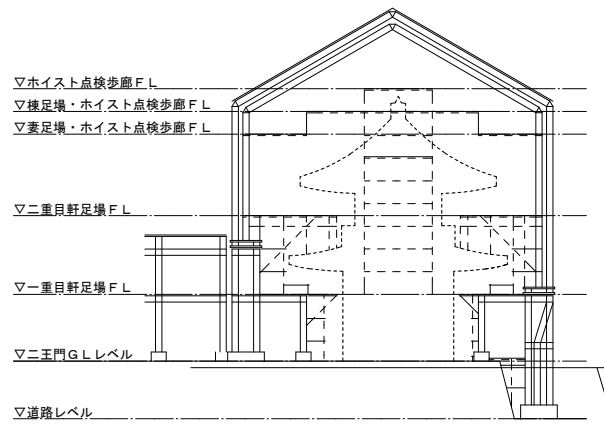


-  素屋根・作業場(上空)を示す
-  素屋根・作業場を示す
-  素屋根・作業場基礎を示す
-  道路面基礎(通行可能)範囲を示す
-  舗装擦り付け範囲を示す

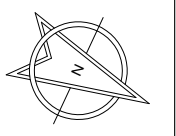
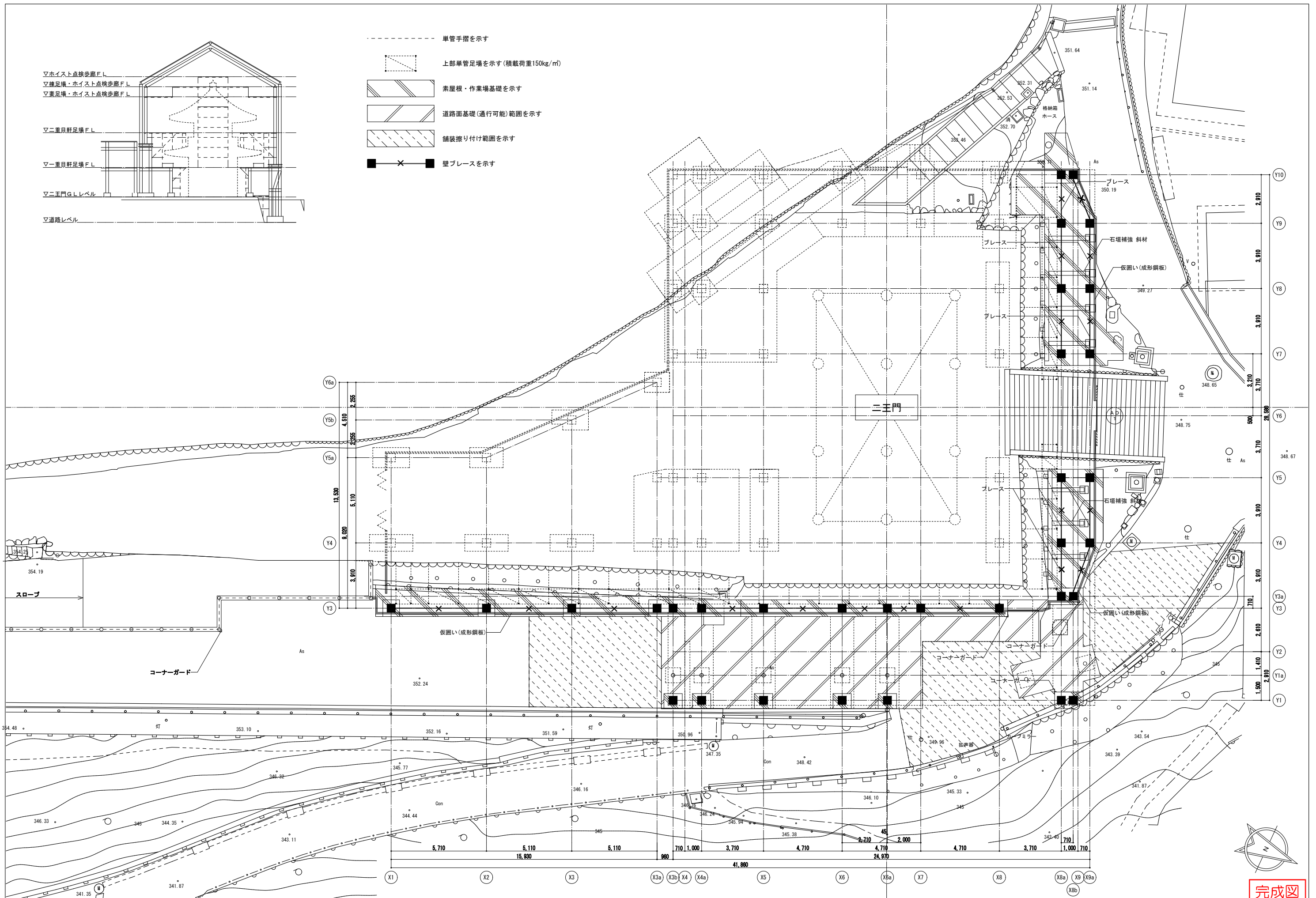
本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。

施 工	奥村・松塚特定建設工事共同企業体	名称 国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事	縮尺	No.
		図名 配置図(計画)	1/150 (A1) 1/300 (A3)	意匠 A-13

完成図



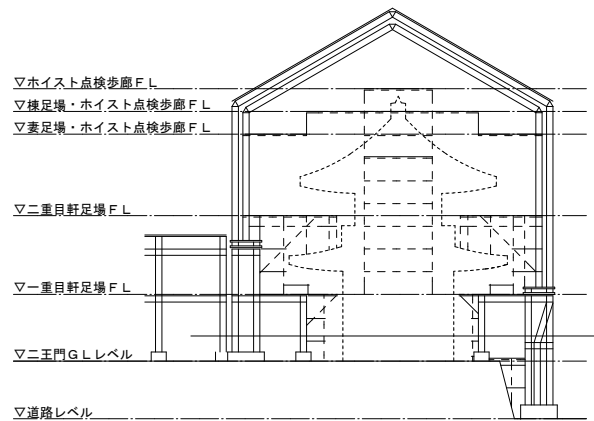
- 単管手摺を示す
- 上部単管足場を示す(積載荷重150kg/m²)
- ▨ 素屋根・作業場基礎を示す
- ▨ 道路面基礎(通行可能)範囲を示す
- ▨ 舗装擦り付け範囲を示す
- × ■ 壁ブレースを示す



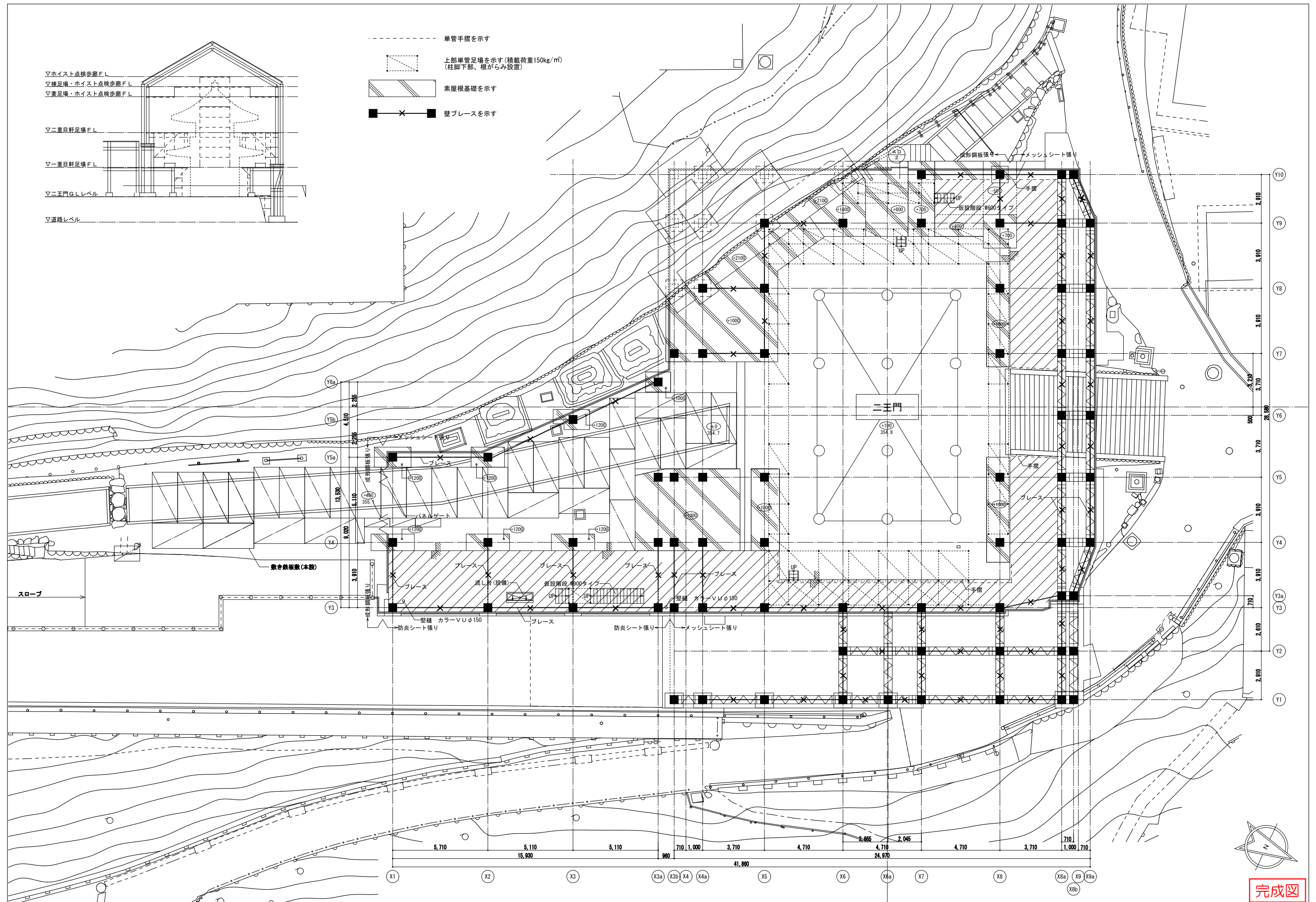
完成図

本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。

施 工	奥村・松塚特定建設工事共同企業体	名称 国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事	縮尺 1/100 (A1) 1/200 (A3)	No. 意匠 A-15
		図名 道路レベル平面図		



- 単管手摺を示す
- 上部単管足場を示す(積載荷重150kg/m)
(柱脚下部、根がらみ設置)
- ▨ 素屋根基礎を示す
- X ■ 壁ブレースを示す

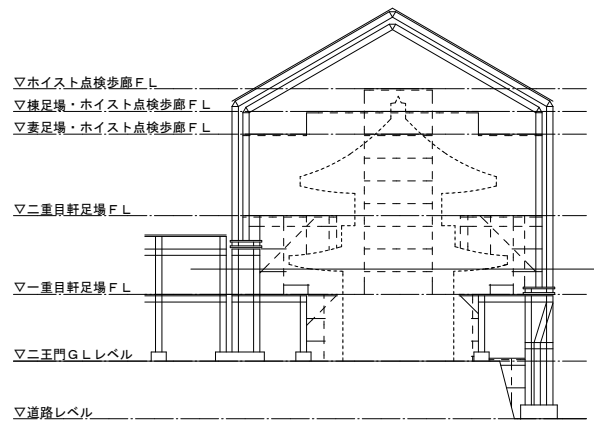


本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。

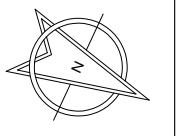
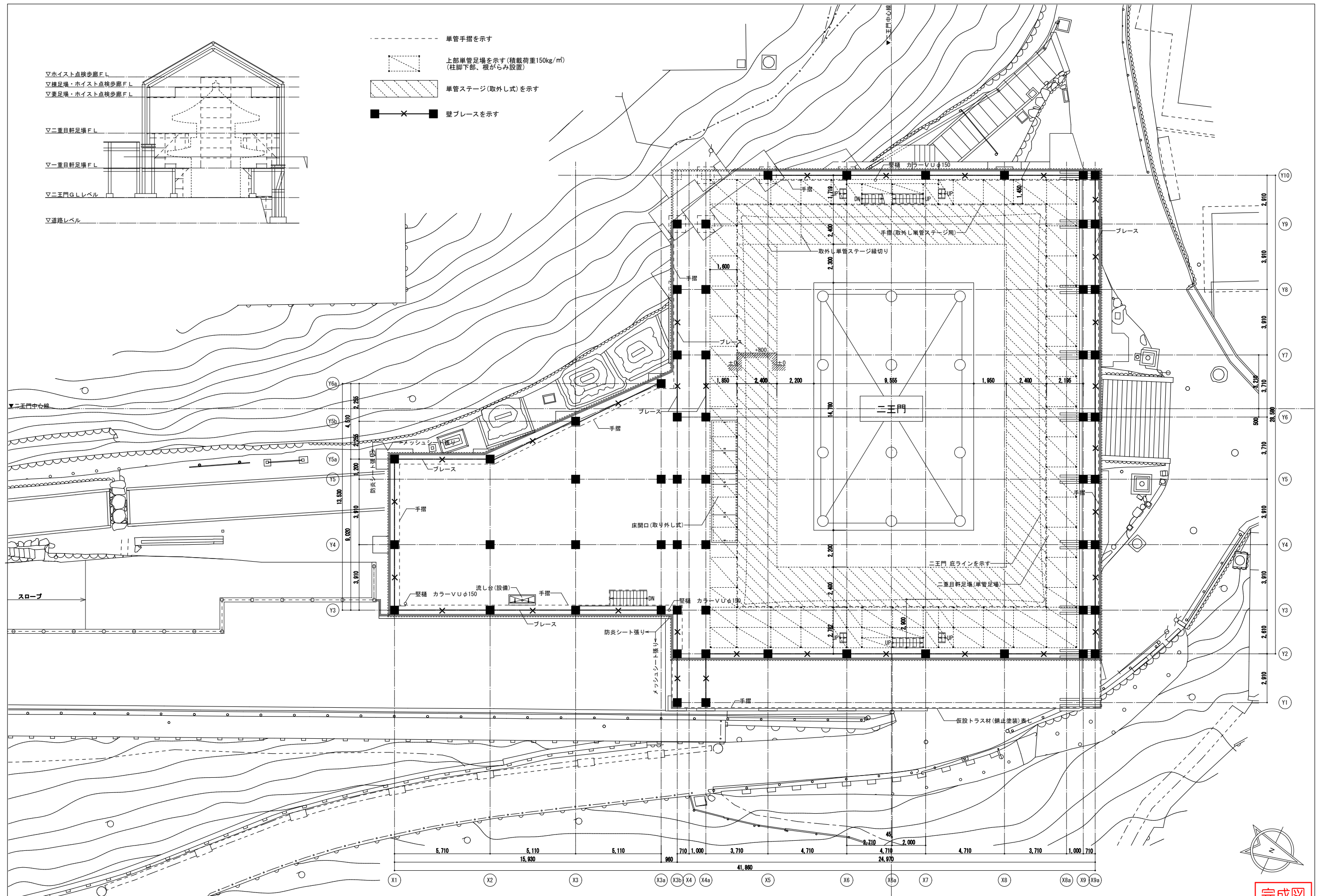
名称 国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事
 図名 1階平面図(二王門 G.L.)

縮尺 1/100 (A1)
 1/200 (A3)
 No. 意匠 A-16

完成図



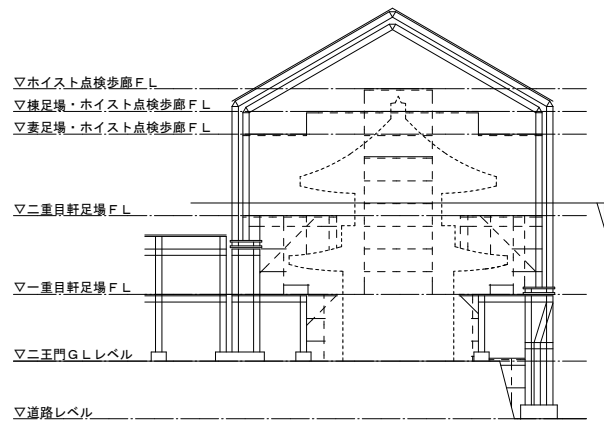
- 単管手摺を示す
- 上部単管足場を示す(積載荷重150kg/m²)
(柱脚下部、根がらみ設置)
- 単管ステージ(取外し式)を示す
- X---■ 壁ブレースを示す



完成図

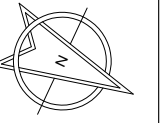
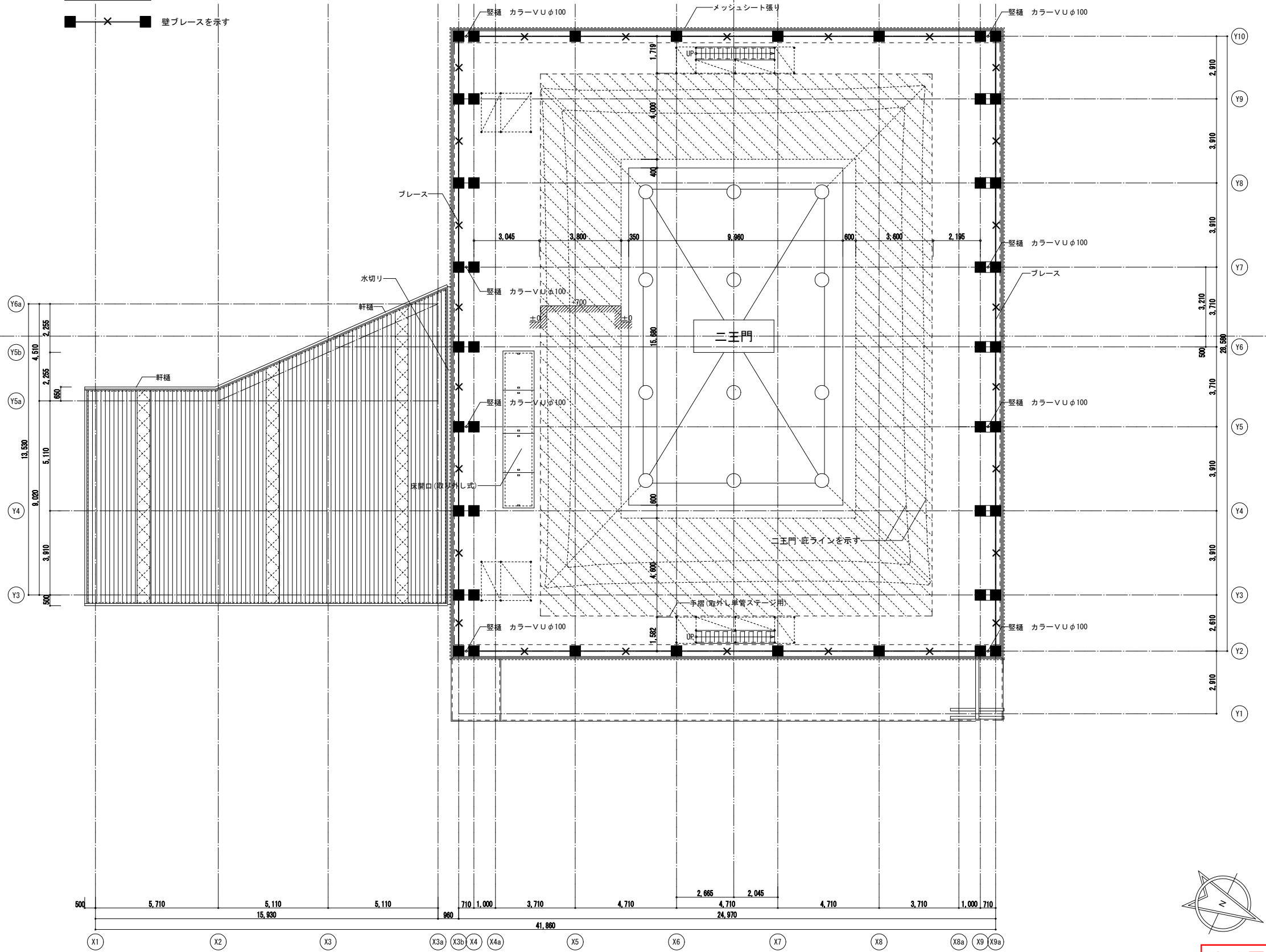
本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。

施	奥村・松塚特定建設工事共同企業体	名称	国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事	縮尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)	No.	意匠 A-17
工		図名	2階平面図(一重目軒足場)				



- 単管手摺を示す
- 上部単管足場を示す(積載荷重150kg/m²)
(柱脚下部、根がらみ設置)
- 単管ステージ(取外し式)を示す
- 折板葺き(ポリカーボネートt1.5)
- 折板葺きt0.6
- 壁プレースを示す

▼二王門中心線



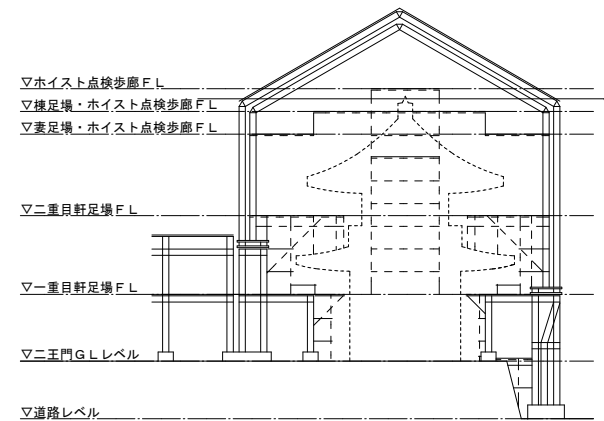
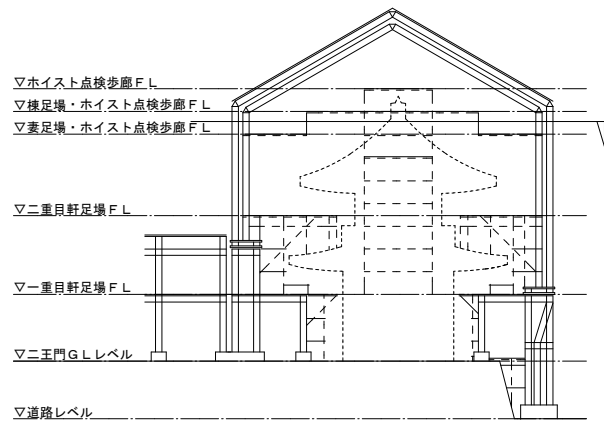
完成図

本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。

施 工	奥村・松塚特定建設工事共同企業体	名称 国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事	縮尺 1/100 (A1) 1/200 (A3)	No. 意匠 A-18
		図名 3階平面図(二重目軒足場)		

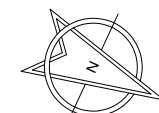
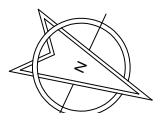
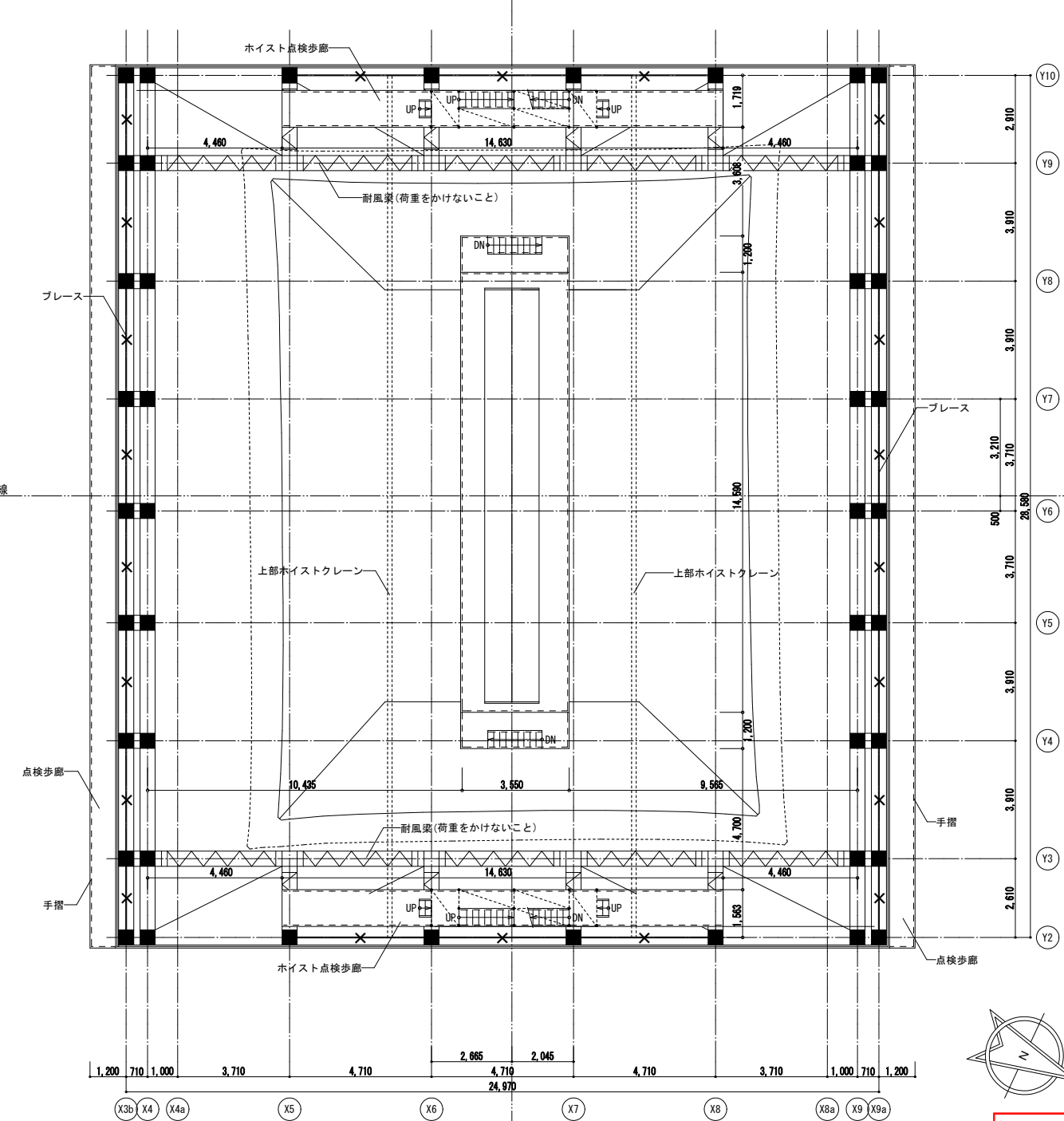
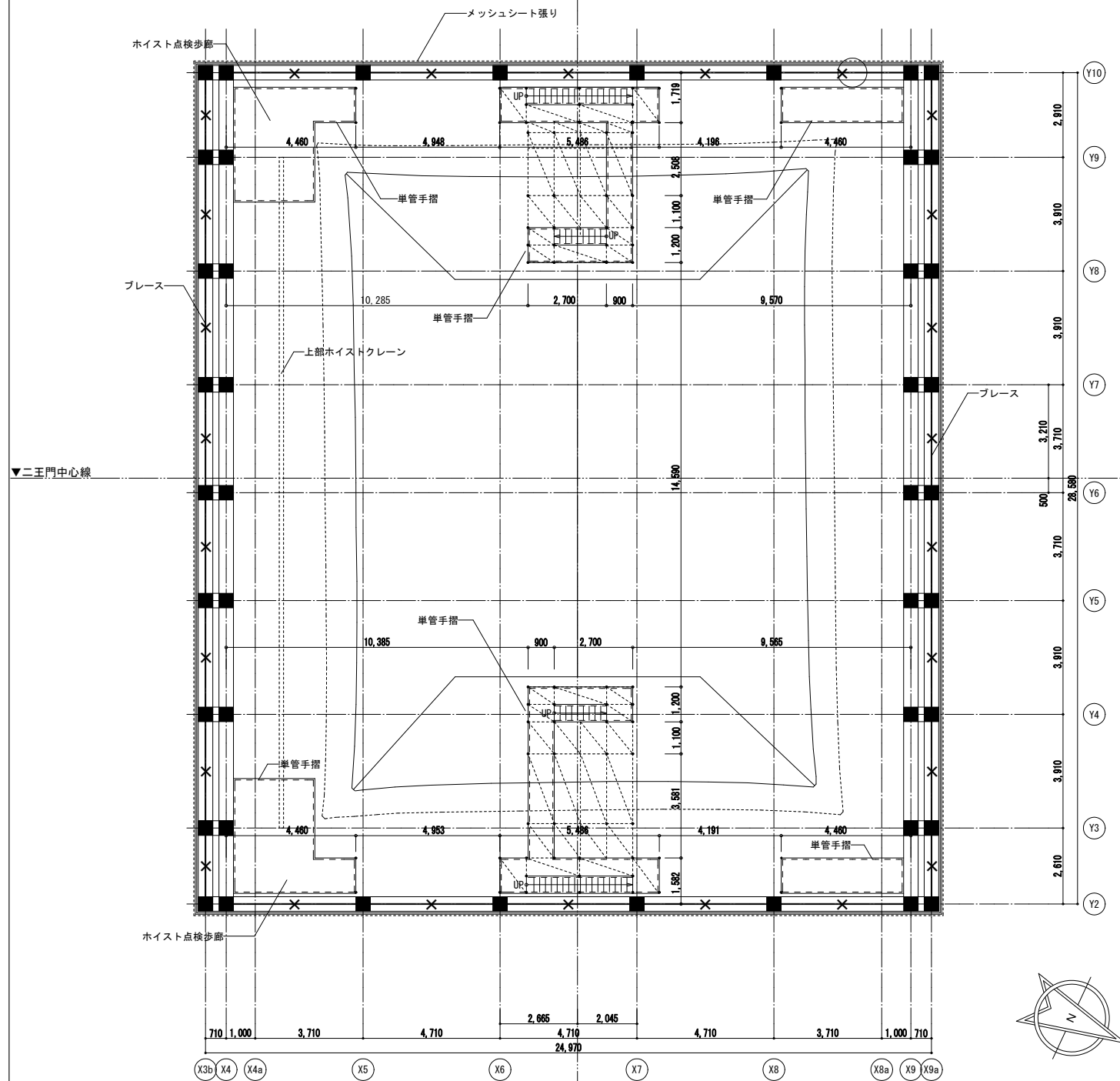
上部平面図 (妻足場)

上部平面図 (棟足場)



--- 単管手摺を示す
 [Z] 上部単管足場を示す (積載荷重150kg/m²)
 (柱脚下部、根がらみ設置)
 [X] 壁ブレースを示す

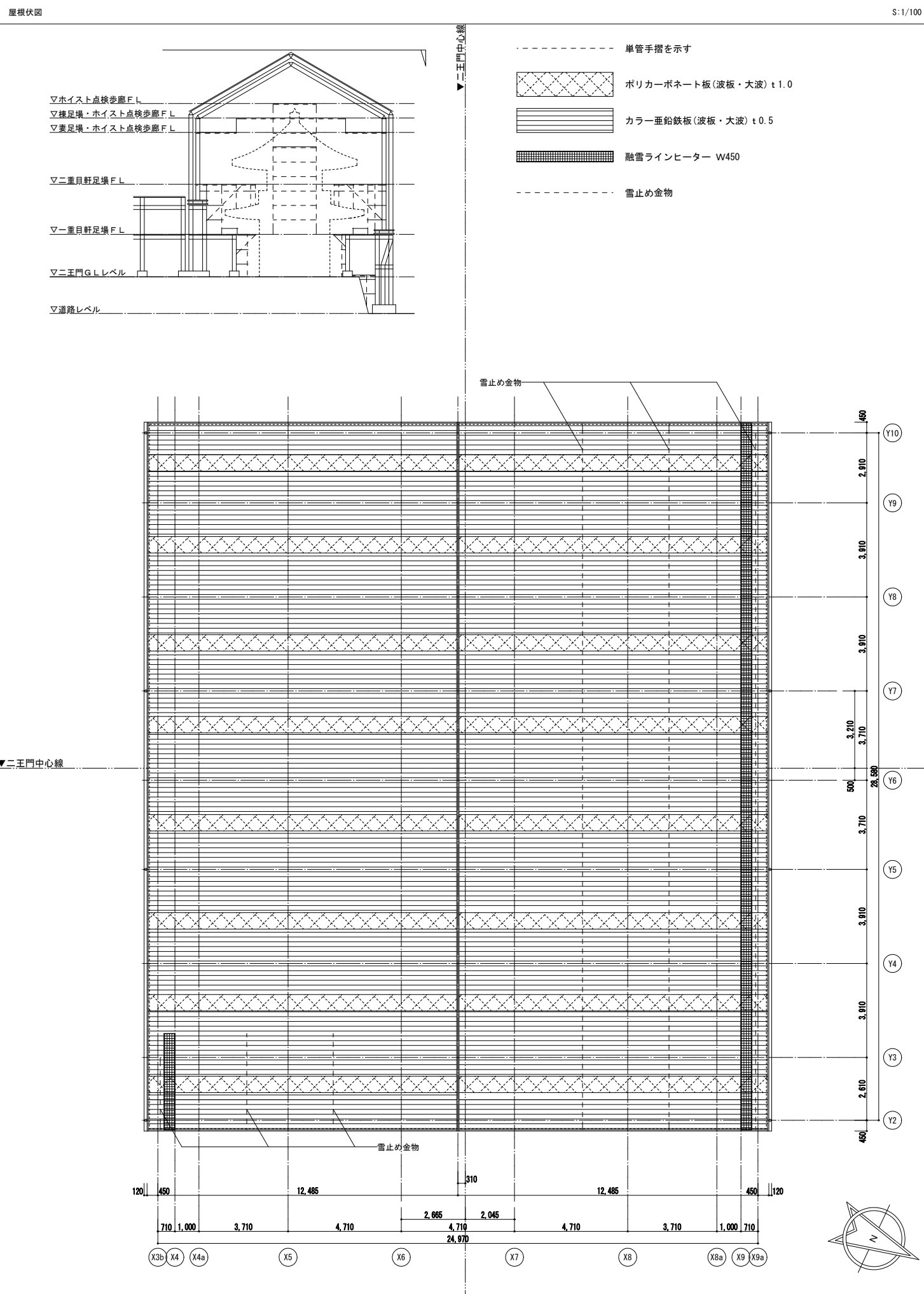
--- 単管手摺を示す
 [Z] 上部単管足場を示す (積載荷重150kg/m²)
 (柱脚下部、根がらみ設置)
 [X] 壁ブレースを示す



完成図

本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。

施	奥村・松塚特定建設工事共同企業体	名称	国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事	縮尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)	No.	意匠 A-19
工		図名	上部平面図 (妻足場・棟足場)				



本表は、本工事に用いる建具を一括して表す。戸棚、カウンターその他これに類する建具は詳細図によるものとし、本表に含まない。

建具の符号と図面表示

符号: 建具の種類, 整理番号

図面表示: ドアローゼット, フロアヒンジ, オートヒンジ, 窓の符号, 形状番号

建具の種類と符号

符号	種類	符号	種類
AD	アルミニウム製戸	AG	アルミニウム製ガラス
SD	鋼製戸	SG	鋼製ガラス
LSD	鋼製窓戸	STG	ステンレス製ガラス
STD	ステンレス製戸	WTG	木製ガラス
AW	アルミニウム製窓	TB	トイレブース
SF	三方弁	MSGH	可動式防雨構造
SS	鋼製シャッター	STP	鋼製雨仕切
SW	鋼製窓	SLW	可動雨仕切
STW	ステンレス製窓		

錠の種類と符号

符号	種類	符号	種類
C	錠	MW	モロックタイプ両面錠
PD	シリンダー本錠	MS	モロックタイプ片面錠
CP	シリンダー兼錠	MD	モロックタイプ両面錠
LD	兼錠本錠	EL	非常錠
CL	兼錠兼錠		
NL	ナイトラッチ		

ガラスの種類と符号

符号	種類	符号	種類
FL-	フロートガラス ()	PWC-	網入透明ガラス (防火設備)
F-	強化ガラス ()	PWL-	網入透明ガラス
A-	防弾衝撃ガラス (色:)	FWC-	網入強化ガラス (防火設備)
R-	防弾反射ガラス ()	FWL-	網入強化ガラス
T-	強化ガラス ()	D-	複層ガラス ()
HT-	防弾度ガラス ()	GB-	ガラスブロック ()
L-	合せガラス ()		

可動部分の気密性と符号

符号	透気量 (m³/h・m)	気密性の区分
SAT	30以上 120未満	120
AT	8以上 30未満	30
PAT	2以上 8未満	8
PPAT	0.4以上 2未満	2

ドアガラスの寸法と符号

符号	寸法 (W×H)
1	形状
2	形状
3	形状
4	形状
5	形状
6	形状
7	形状

窓の材質、形状と符号

符号	材質	符号
ST-	ステンレス製	a
S-	スチール製	b
AL-	アルミニウム製	c
W-	木製	d
	石製	e

窓の形状

形状	符号
目地挿	0
戸厚挿	1
建具挿	2
	3
	4
	5
	6
	7

建具金物

開閉型式	支持金物	締り金物	備考
開き (鋼製)	ステンレス製丁番151mm3枚 (またはオートヒンジ2枚)	(外部) シリンダー兼錠 (内部) シリンダー兼錠	戸当たり 錠止め付 両面きつフランジ上下
開き (木製)	ざばし付丁番127mm3枚	(外部) シリンダー兼錠 (内部) シリンダー兼錠	戸当たり 錠止め付 両面きつフランジ上下
大錠ブース戸	ラバトリーヒンジ	内錠付錠 (SUS304)	ラバトリーストライク 椅子兼錠戸当たり (兼錠) ダイカストカラム錠金
二つ折戸	オートヒンジ		扉引手
一枚引違い窓	戸車およびレール	クレセント	引手
高低引違い窓	レール、引手車		
壁掛回転錠	回転錠SIS	2ハンドル 多点締り	アームストッパー 15° 45° 90°
壁掛回転錠	回転錠SIS	1ハンドル 多点締り	アームストッパー 15° 45° 90°
内開し窓	隠し丁番アーム	トップラッチ	
片引き窓	戸車およびレール、引手車兼付	2ハンドル 多点締り	ストッパー

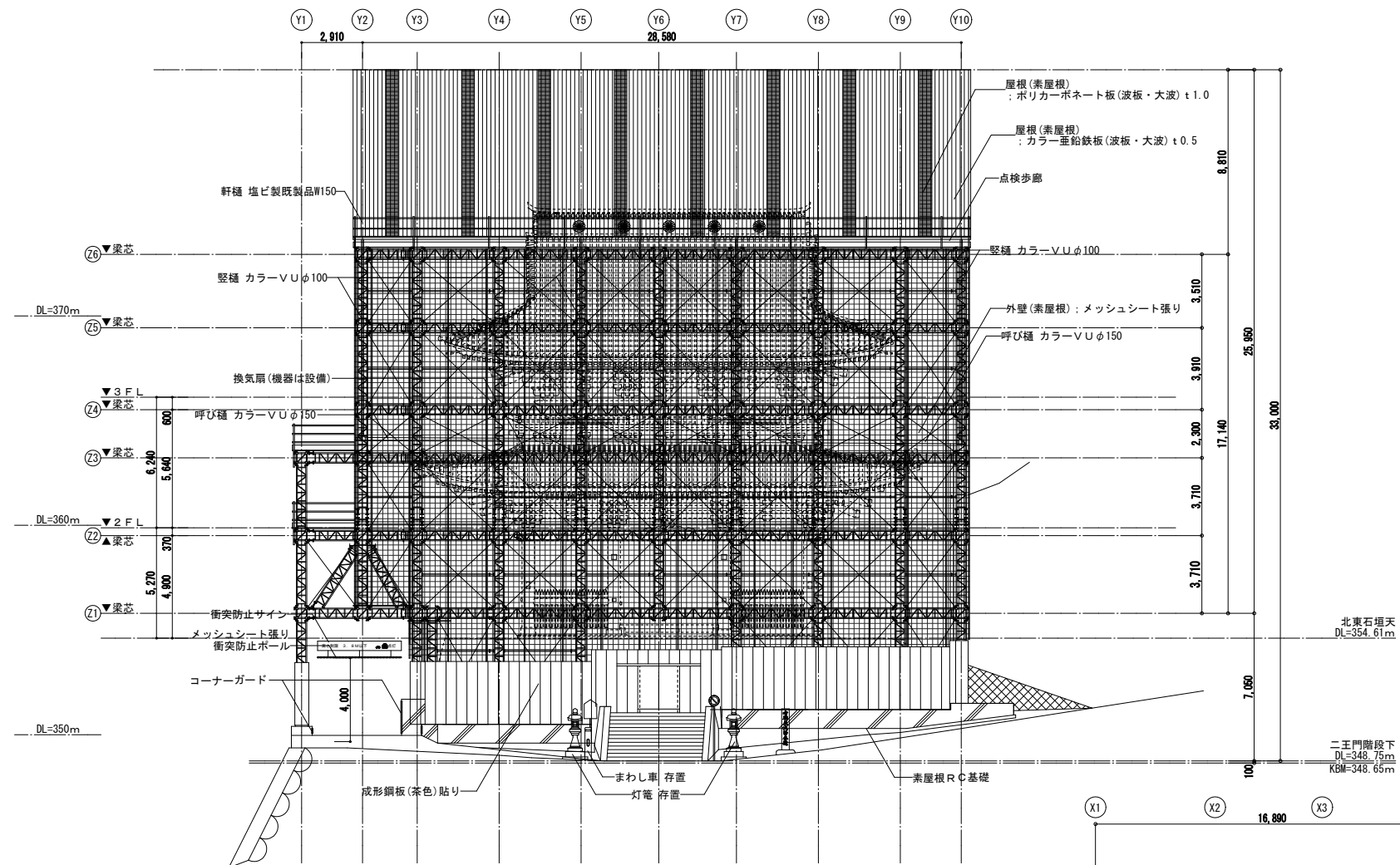
共通事項

- 開閉サッシの枠材開閉機構の素材はビス、パネル部の発生しない材質とする。高気密部はSUS304材とする。
- 戸枠に戸当たりゴム2ヶ所を取付ける。
- マスターキーは () 系統とし、グラッドマスターキーを組込むこと。
- シリンダー兼錠は、アンチフリクション機構付きとし、錠玉はステンレスとする。

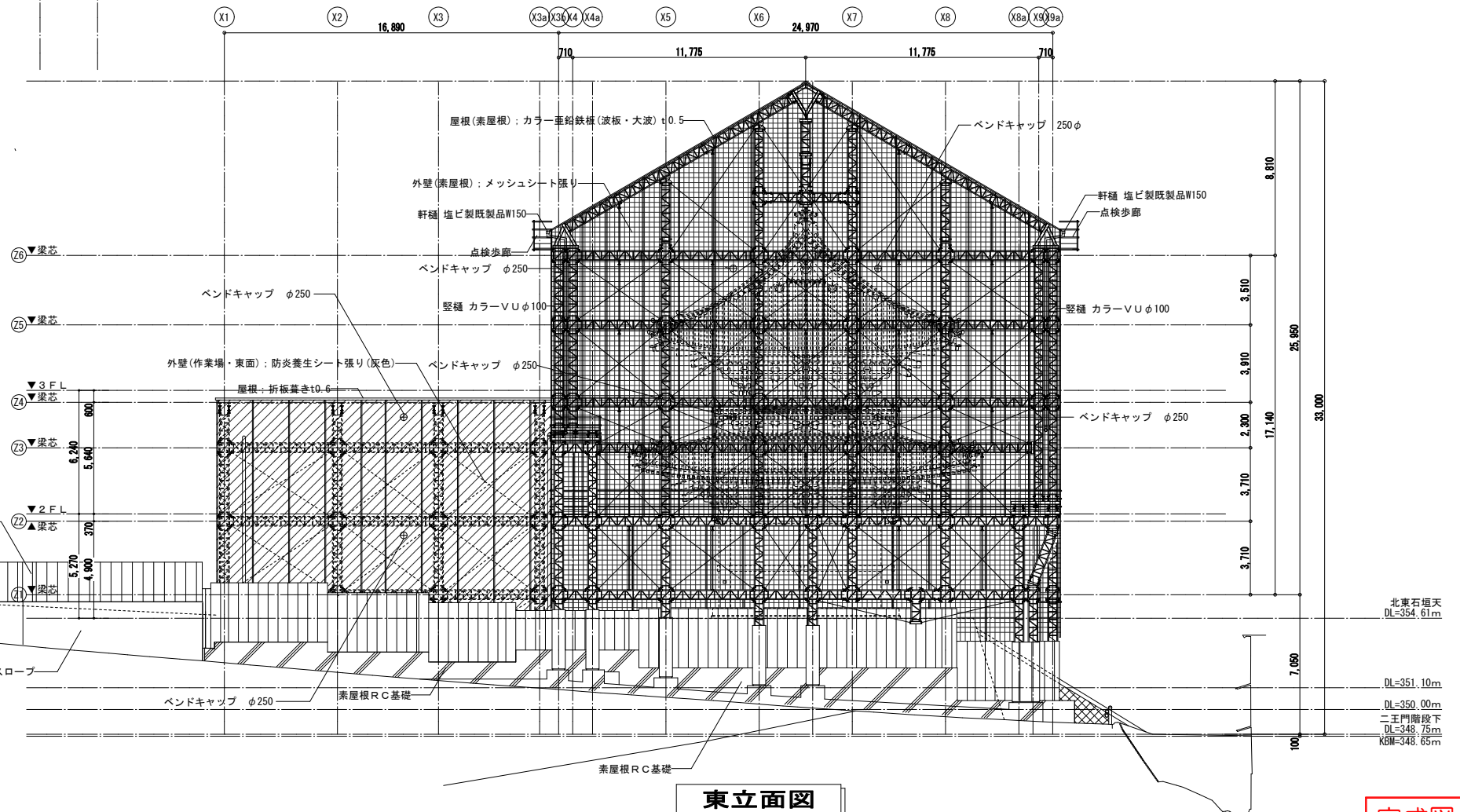
本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。

符号	形式	見込	AD 1 内部	仮設ハンガードア	厚: 42 枠: 150	AD 2 内部	仮設ハンガードア	厚: 42 枠: 150
	位置	数量		北側出入口	1		西側出入口	1
形状・寸法								
材質・仕上	単管下地 鋼板貼り		単管下地 鋼板貼り					
程度・ガラス								
金物	シリンダー錠 ハンガーレール・引手 付属金物一式		シリンダー錠 ハンガーレール・引手 付属金物一式					
備考	丸落とし							
符号	形式	見込						
	位置	数量						
形状・寸法								
材質・仕上								
程度・ガラス								
金物								
備考								
符号	形式	見込						
	位置	数量						
形状・寸法								
材質・仕上								
程度・ガラス								
金物								
備考								




完成図



北立面図

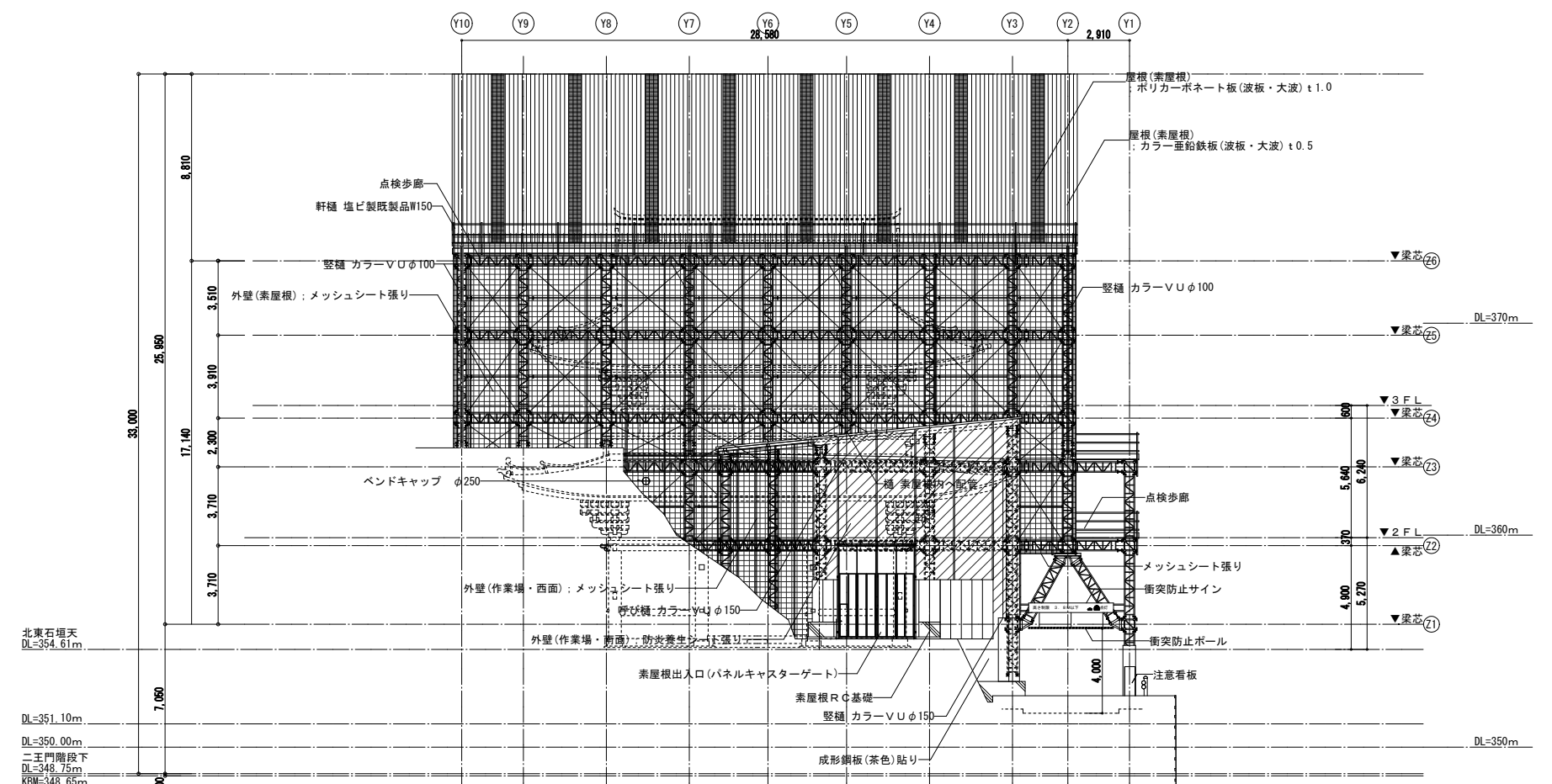


東立面図

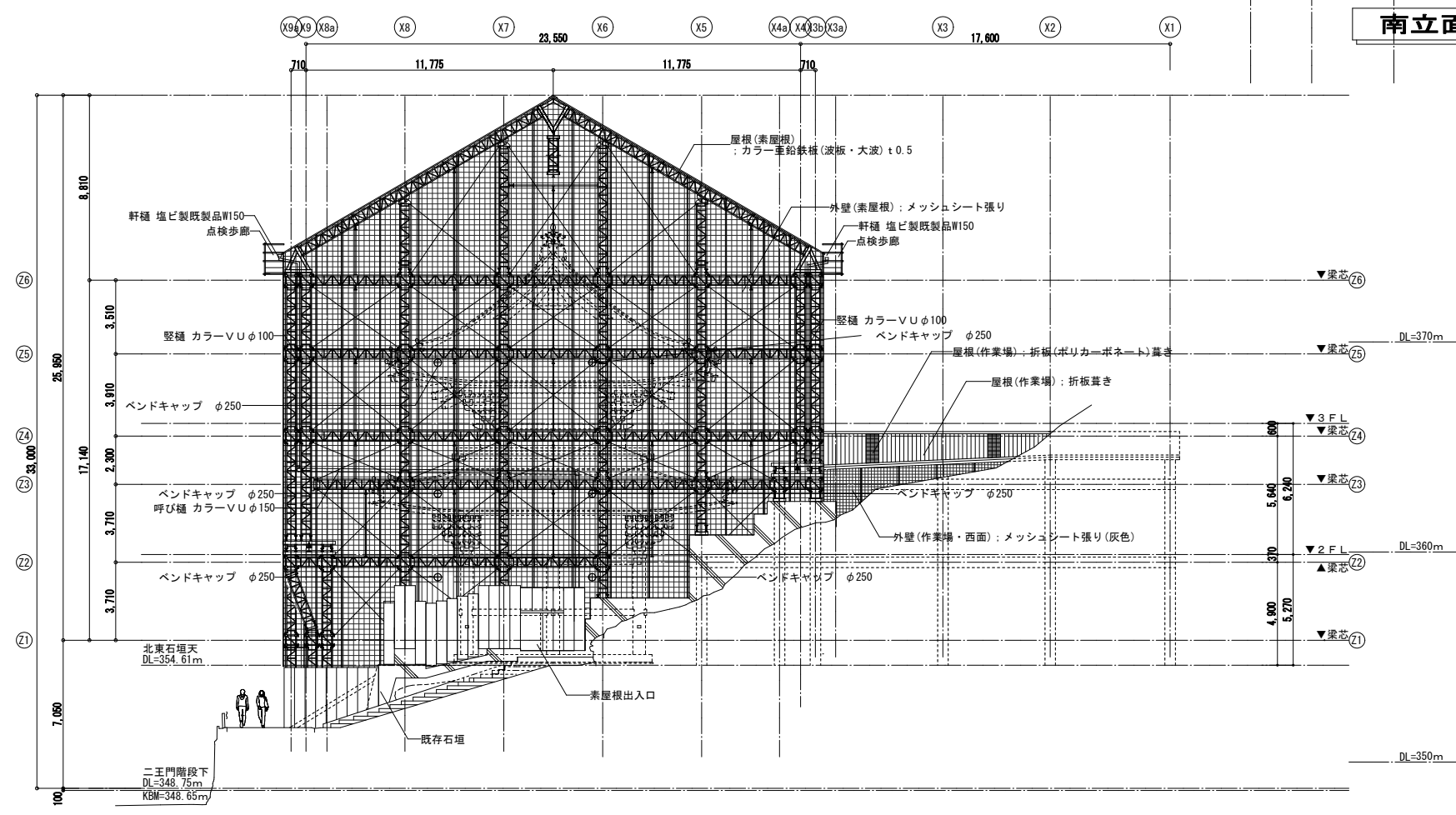
-  外壁：メッシュシート張り
-  外壁：防火養生シート張り
-  外壁：成形鋼板張り

完成図

本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。		名称	国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事	縮尺	1/150 (A1) 1/300 (A3)	No.	意匠 A-21
施工	奥村・松塚特定建設工事共同企業体	図名	立面図 1				



南立面図

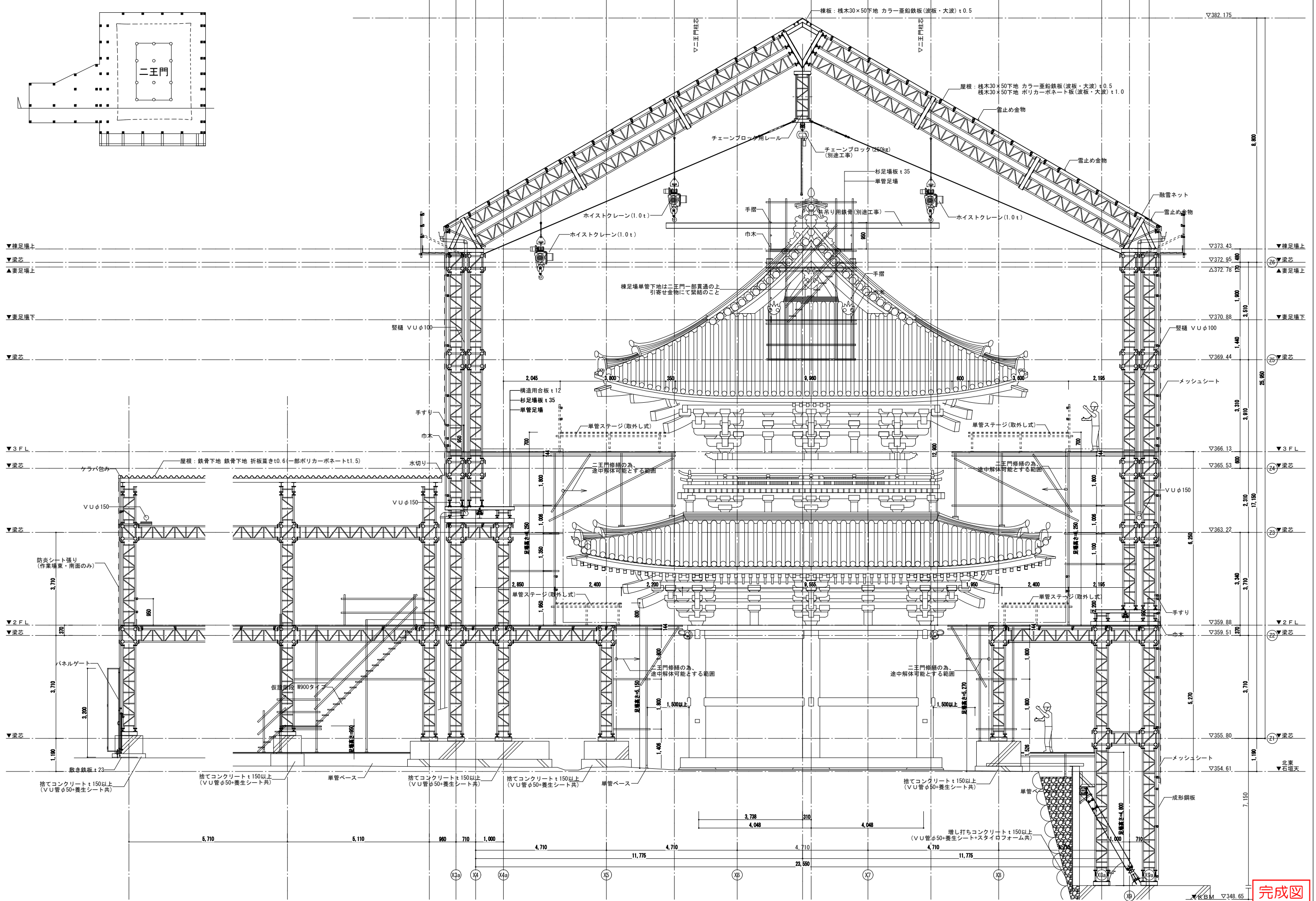
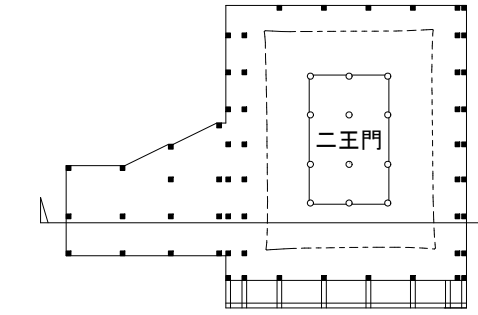


西立面図

- 外壁：メッシュシート張り
- 外壁：防火養生シート張り
- 外壁：成形鋼板張り

完成図

本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。		施 奥村・松塚特定建設工事共同企業体 工	名称 国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事 図名 立面図2	縮尺 1/150 (A1) 1/300 (A3)	No. 意匠 A-22
--	--	-------------------------	--------------------------------	-----------------------------	-------------



本完成図は、完成建物の基本情報を記載したものです。工事に際して作成された施工図等の詳細情報と合わせてご利用ください。

施 工	奥村・松塚特定建設工事共同企業体	名称	国宝金峯山寺二王門素屋根建設工事	縮尺	N.O.
		図名	断面詳細図 1	1/60 (A1) 1/120 (A3)	意匠 A-23

完成図